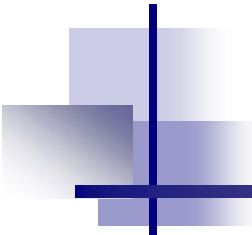


**泊発電所 敷地内の地質・地質構造  
に関するコメント回答  
(断層の連続性確認に関する資料集)**



**平成26年3月5日  
北海道電力株式会社**



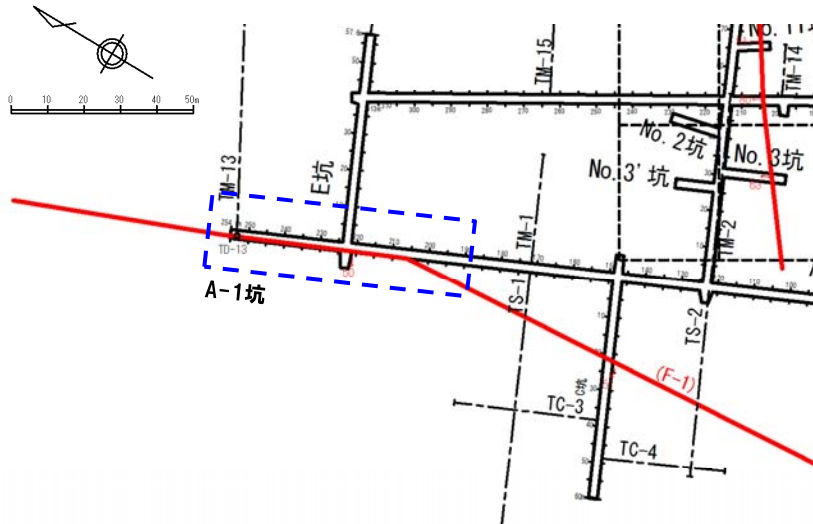
# 1. 断層の連続性の確認について

# 1.断層の連続性の確認について

## (1) F-1断層

【試掘坑調査結果:A-1坑】

○A-1坑では、F-1断層は凝灰岩中及び凝灰岩と凝灰角礫岩との境界付近に認められ、N10° W/50° Wの構造を示す。

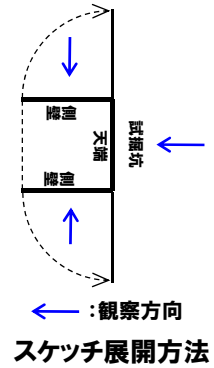


試掘坑平面図



(北側壁)

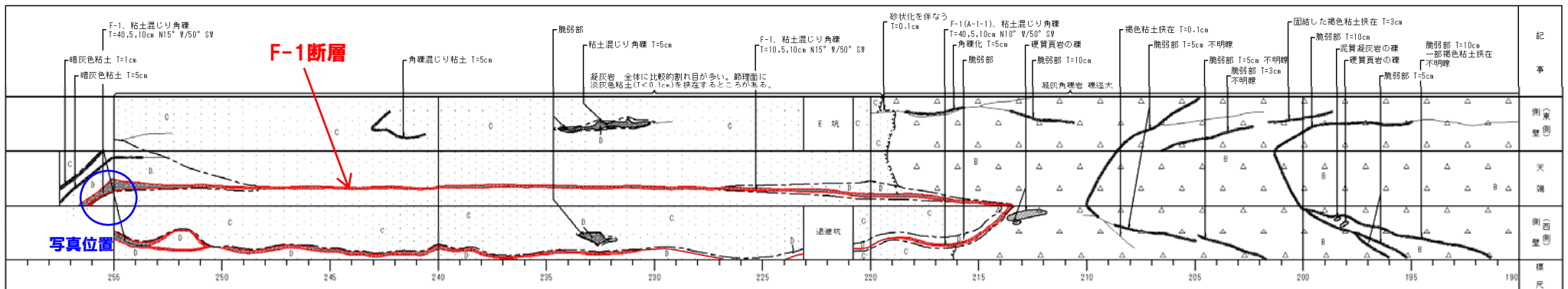
F-1断層露頭写真(A-1坑)  
始点からの距離254.9m(切羽)



記号凡例

.....	地質境界線	□	礫・砂・粘土
—	断層	△	凝灰角礫岩
—	掘削	■	凝灰岩
—	鉄筋筋、鉄石物、強度化筋(幅10cm未満)	□	凝灰角礫岩
—	鉄筋筋、鉄石物、強度化筋(幅10cm以上)	□	全周凝灰岩反折
—	岩盤分類境界線及び岩盤分類記号	□	安山岩
		□	凝灰質泥岩

記号凡例  
T=1cm : 幅1cmを表す  
T=3, 0.5, 1cm : 幅の最大5cm, 最小0.5cm, 平均1cmを表す  
N10° W/45° NE : 走向・傾斜

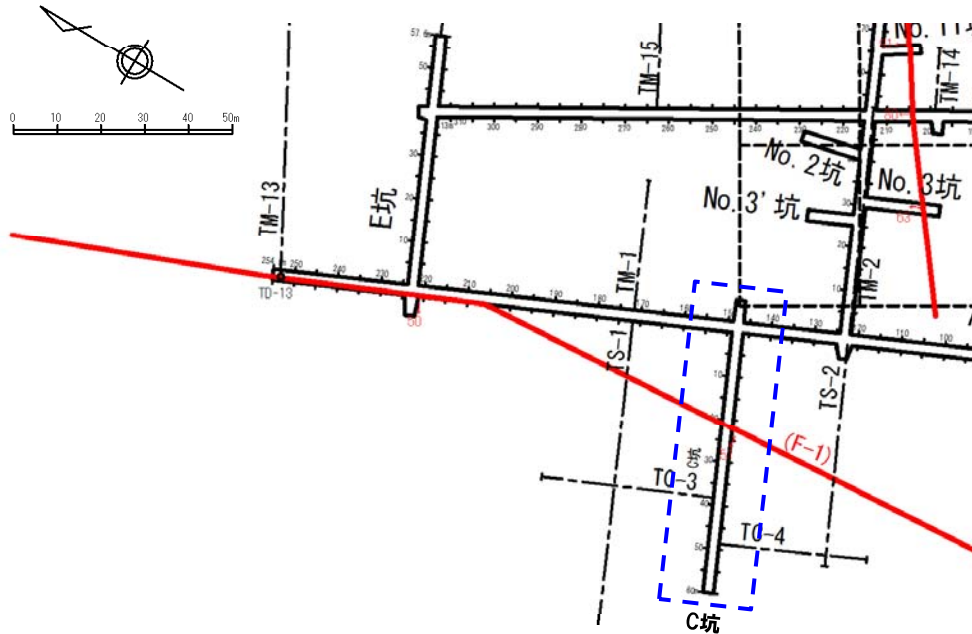


A-1坑スケッチ(始点からの距離190~254.9m)

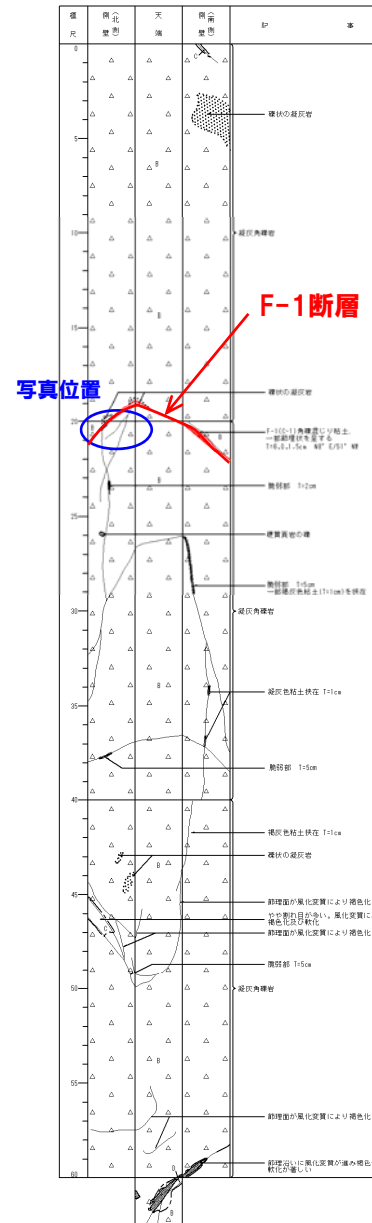
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:C坑】

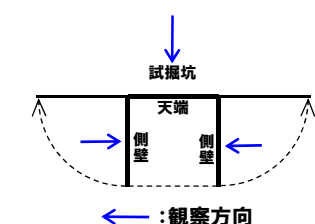
○C坑では、F-1断層は凝灰角礫岩中に認められ、N8° E/51° Wの構造を示す。



試掘坑平面図



F-1断層露頭写真(C坑) 始点からの距離約20m



スケッチ展開方法

地質境界線	砂・砂土
節理	凝灰角礫岩
断層面	凝灰岩
鉄質砂、挟在物、強風化部(幅10cm未満)	凝灰質砂岩
鉄質砂、挟在物、強風化部(幅10cm以上)	含泥質凝灰岩
岩部分類境界線及び岩部分類記号	安山岩
	凝灰質泥岩

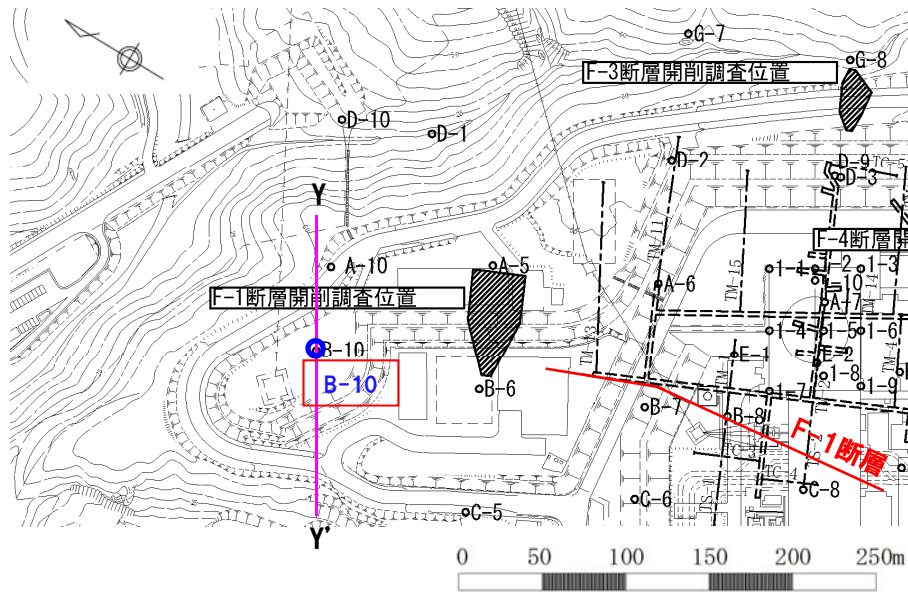
記号凡例

10cm : 縮小5倍寸  
 F=5, 0.5, 1cm : 層の最大5cm, 最小0.5cm, 平均1cmを表す  
 M10° N45° E : 走向・傾斜

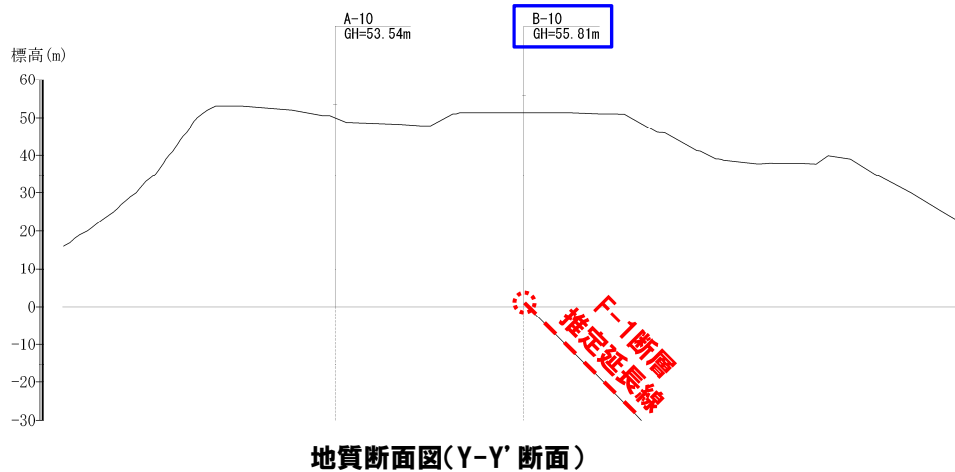
試掘坑スケッチ(始点からの距離0~60.0m)

# 1.断層の連続性の確認について

【ボーリング調査結果:B-10孔】



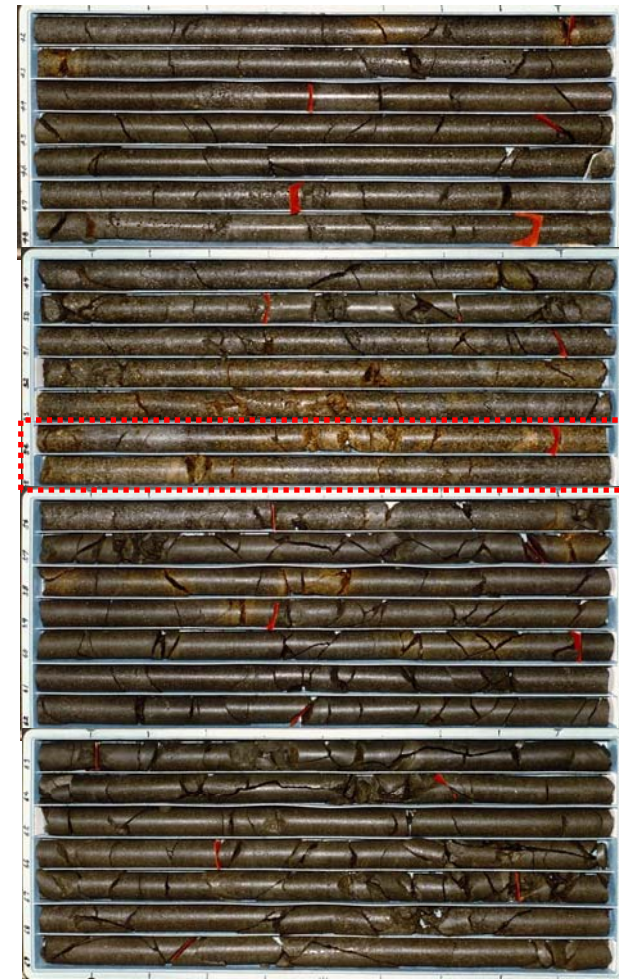
調査位置図（※断層位置はEL.2.8mで記載）



地質断面図(Y-Y' 断面)

○B-10孔では、開削調査及び試掘坑調査から断層が推定される深度付近には、条線、鏡肌、粘土の挟在等は認められない。

深度42.0m(標高13.81m)

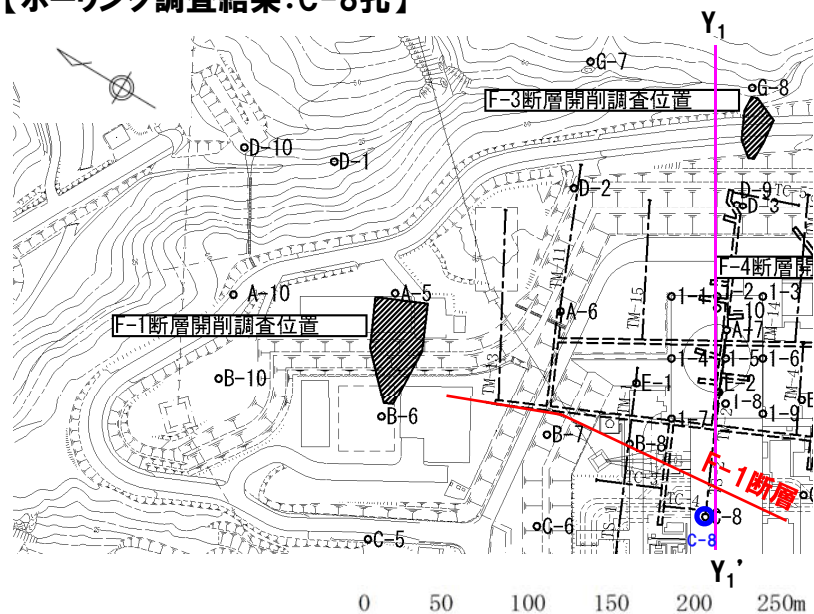


深度70.0m(標高-14.19m)

○:ボーリング地点における推定延長位置  
(深度約54.8m 標高約1m)

# 1.断層の連続性の確認について

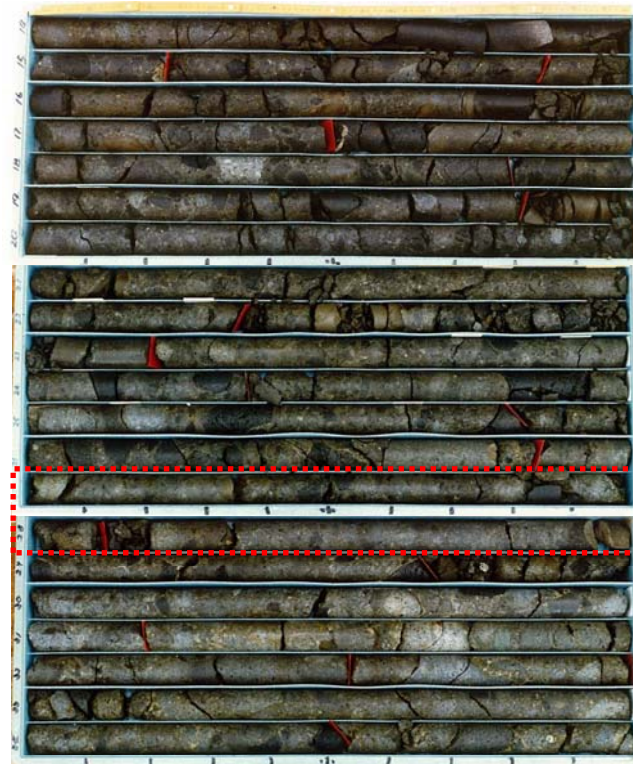
## 【ボーリング調査結果:C-8孔】



調査位置図（※断層位置はEL.2.8mで記載）

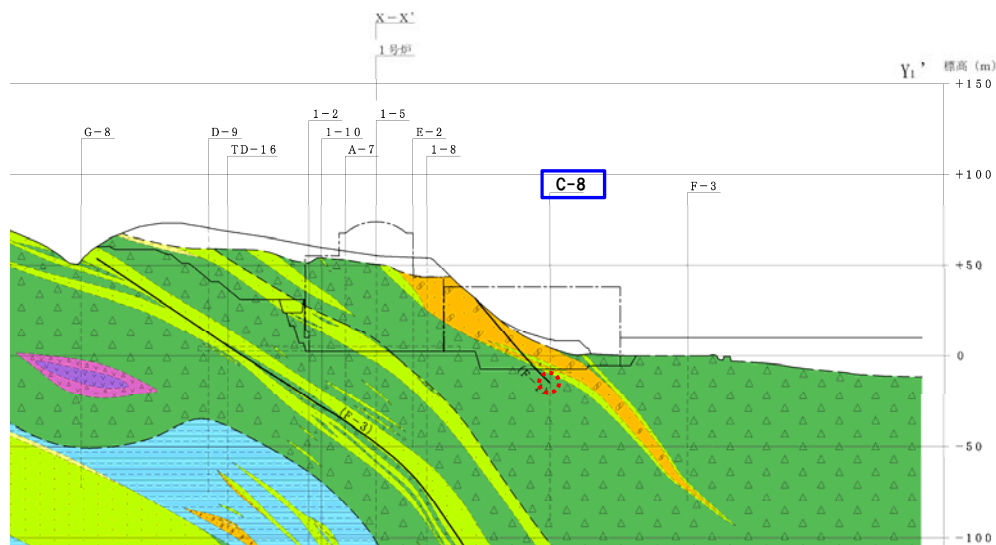
OC-8孔では、開削調査及び試掘坑調査から断層の分布が推定される位置付近には、条線、鏡肌、粘土の挟在等は認められない。

深度14.0m(標高-4.71m)



深度35.0m(標高-25.71m)

：推定延長位置(深度約28.3m 標高約-19m)



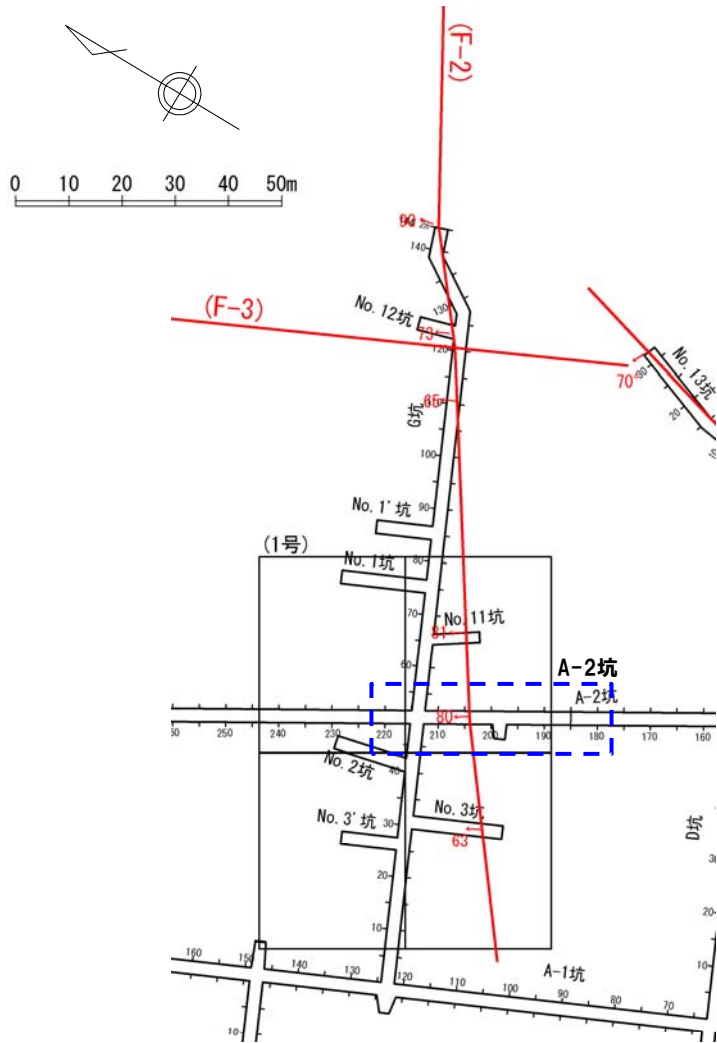
地質断面図(Y<sub>1</sub>-Y<sub>1</sub>'断面)

# 1.断層の連続性の確認について

## (2)F-2断層

### 【試掘坑調査結果:A-2坑】

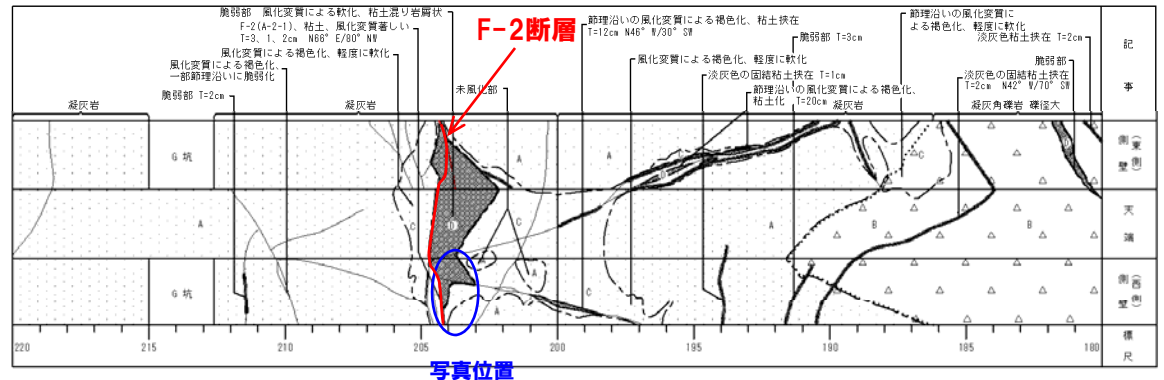
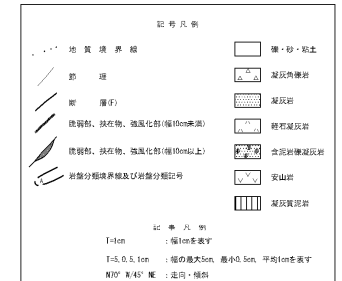
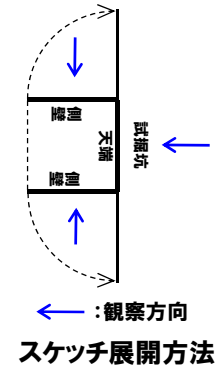
○A-2坑では、火山礫凝灰岩中の脆弱部に認められ、粘土の挟在が確認される。



試掘坑平面図



F-2断層露頭写真(A-2坑)  
始点からの距離約204m

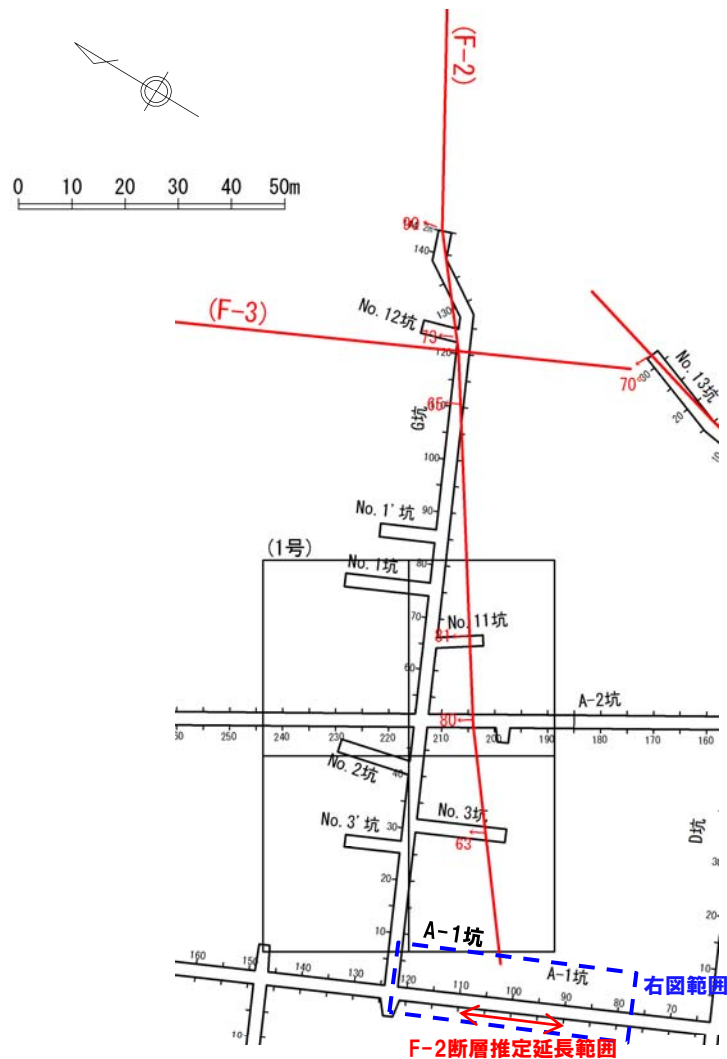


試掘坑スケッチ(始点からの距離180~220m)

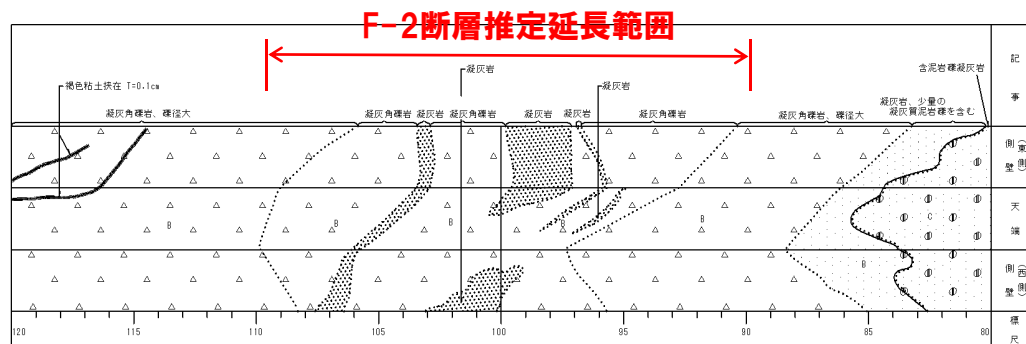
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:A-1坑】

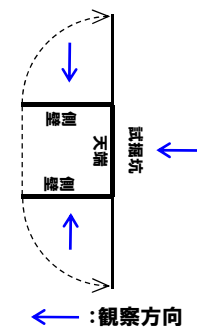
○他の試掘坑で確認された走向・傾斜から推定されるF-2断層の延長部付近には、同様の性状を示す断層は認められない。



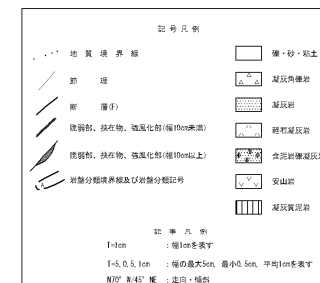
試掘坑平面図



試掘坑スケッチ(始点からの距離80~120m)



観察方向  
スケッチ展開方法

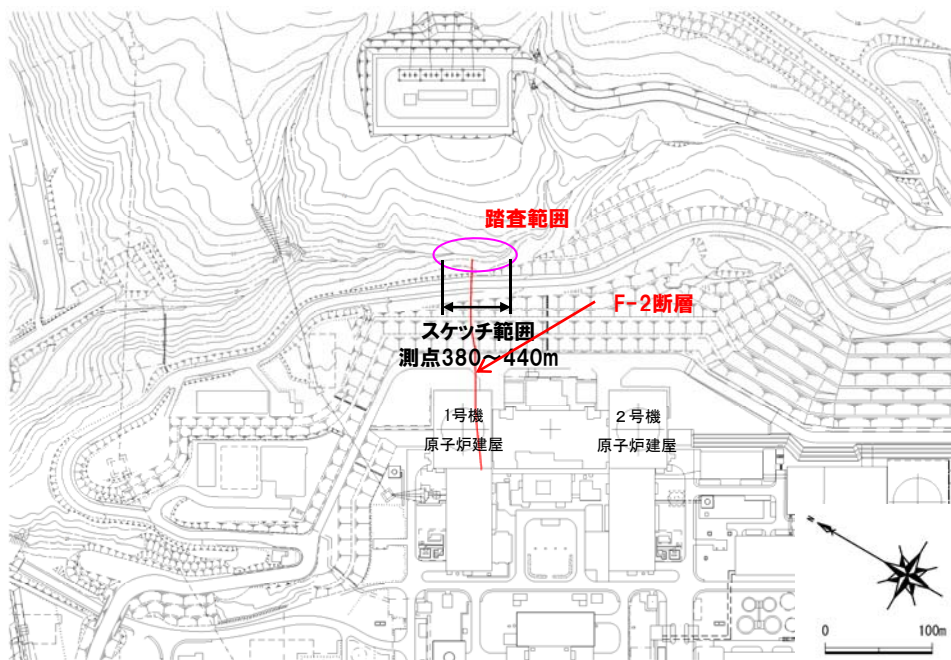




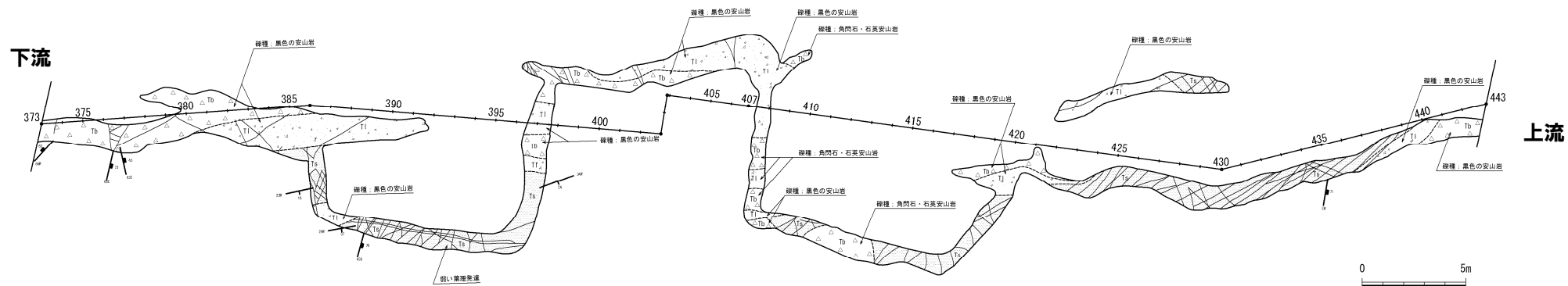
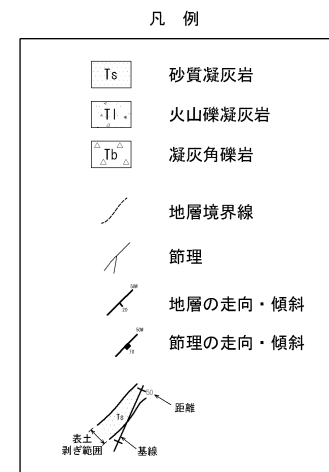
# 1.断層の連続性の確認について

## 【地表地質踏査結果:裏沢】

○裏沢で実施した地表地質踏査結果では、試掘坑で確認された走向・傾斜から推定されるF-2断層の延長部付近には、溪床に連続露頭が確認され、試掘坑で確認されたF-2断層と同様の性状を示す断層は認められない。



調査位置図（※断層位置はEL.2.8mで記載）



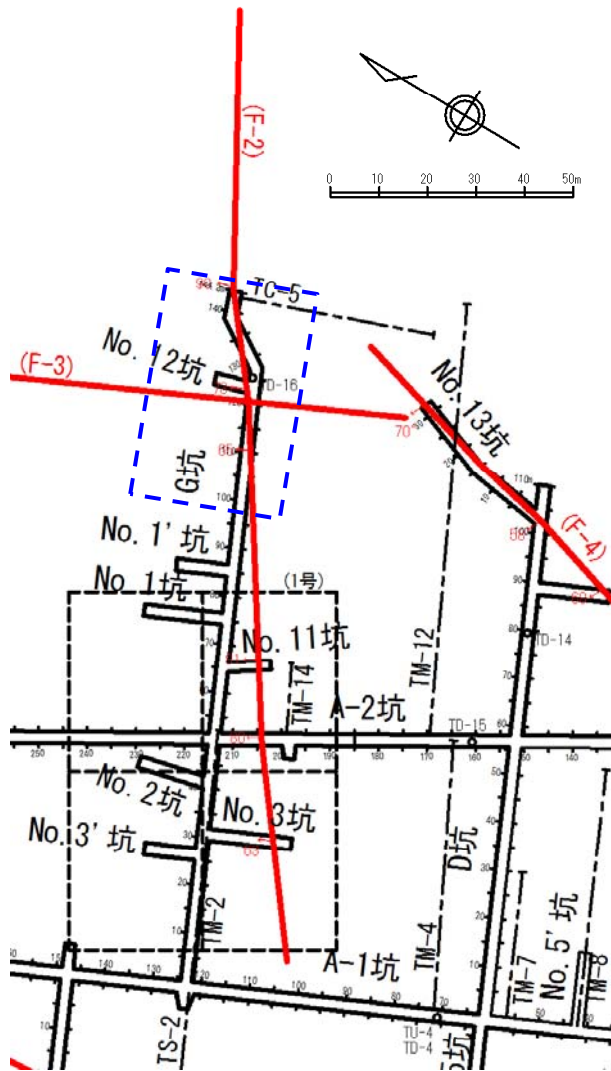
裏沢露頭スケッチ

# 1.断層の連続性の確認について

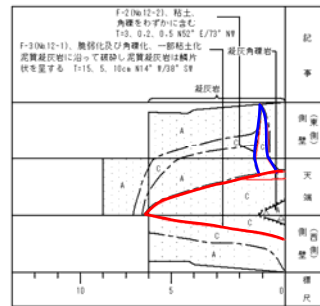
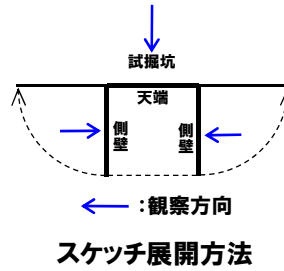
## (3)F-3断層

【試掘坑調査結果:G坑・No.12坑】

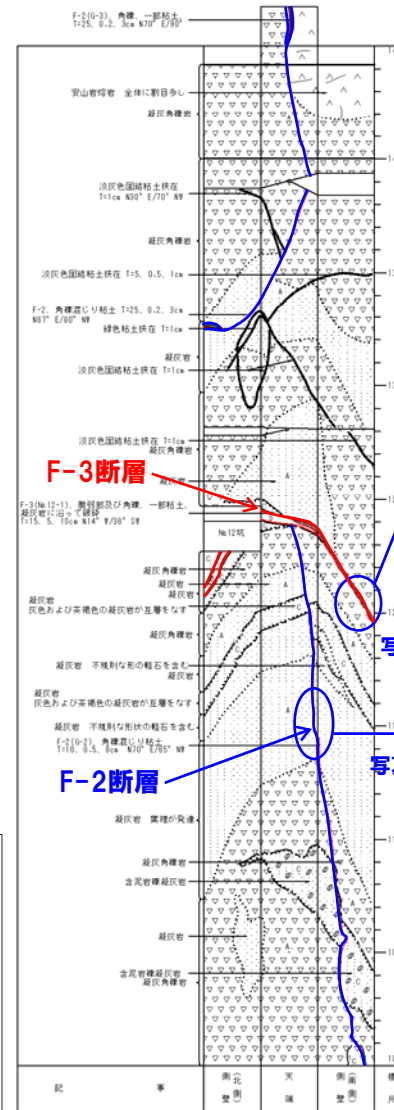
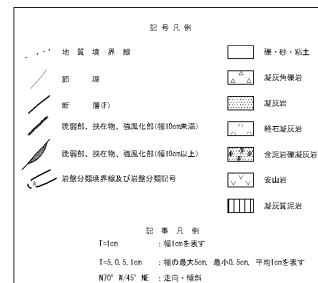
○G坑では、F-3断層は、泥質凝灰岩と火山礫凝灰岩の境界付近に認められる。



試掘坑平面図



試掘坑スケッチ (No.12坑)



試掘坑スケッチ (G坑始点からの距離100~144.2m)

F-3断層



F-3断層露頭写真(G坑) 始点からの距離120m

F-2断層

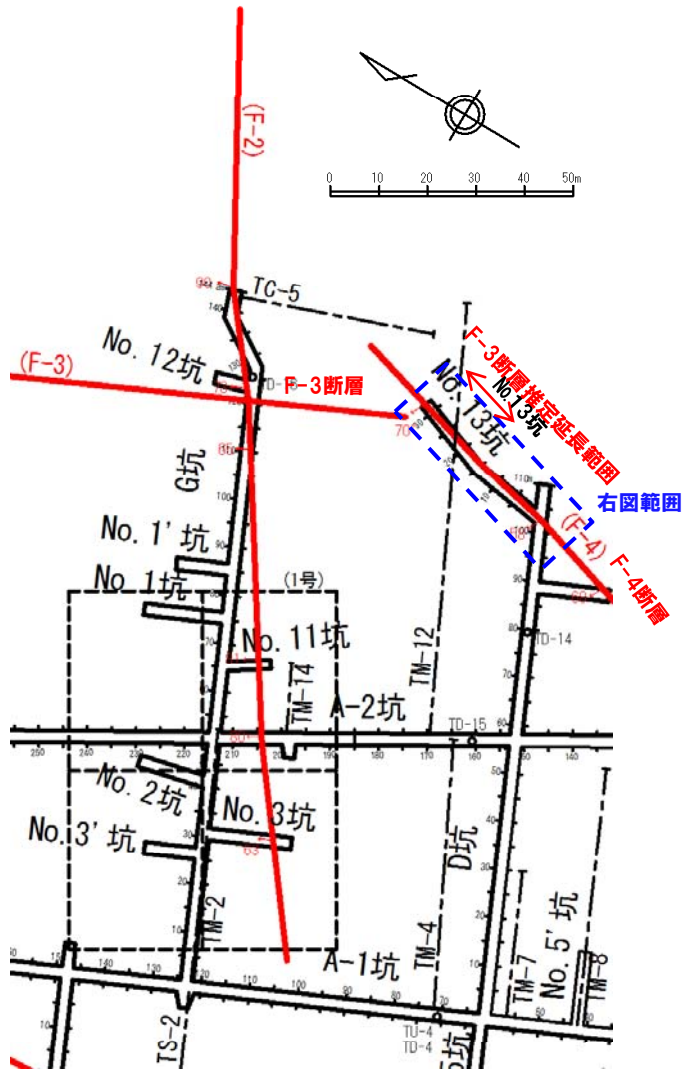


F-2断層露頭写真(G坑) 始点からの距離115m

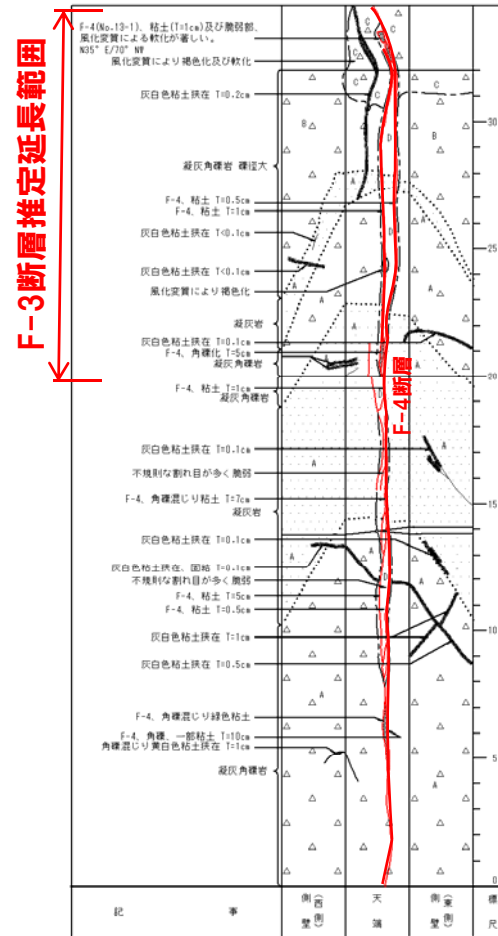
# 1.断層の連続性の確認について

【試掘坑調査結果:No.13坑】

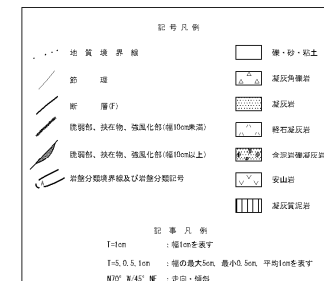
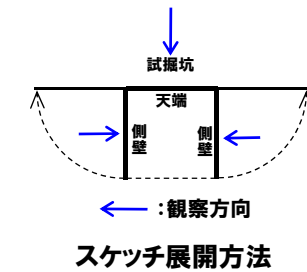
○他の試掘坑で確認された走向・傾斜から推定されるF-3断層の延長部付近には、同様の性状を示す断層は認められない。



試掘坑平面図



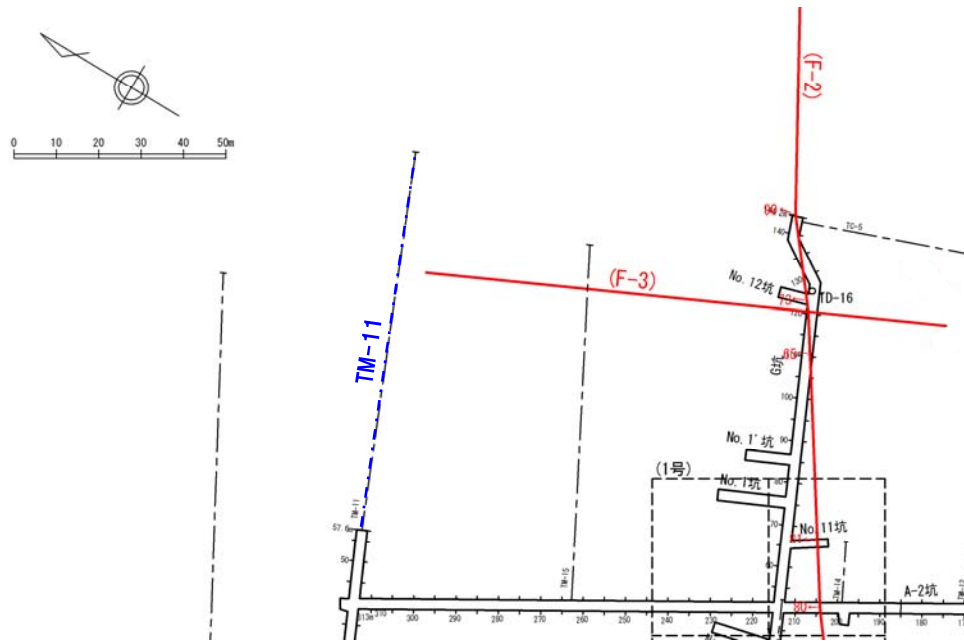
試掘坑スケッチ  
(No.13坑始点からの距離0~32m)



# 1.断層の連続性の確認について

## 【ボーリング調査結果:TM-11孔】

- 水平ボーリングTM-11坑では、試掘坑内で確認された走向・傾斜から推定されるF-3断層の延長部付近に認められる火砕岩下部の凝灰岩類に、条線、鏡肌、粘土の挟在等は認められない。



調査位置図(試掘坑平面図)



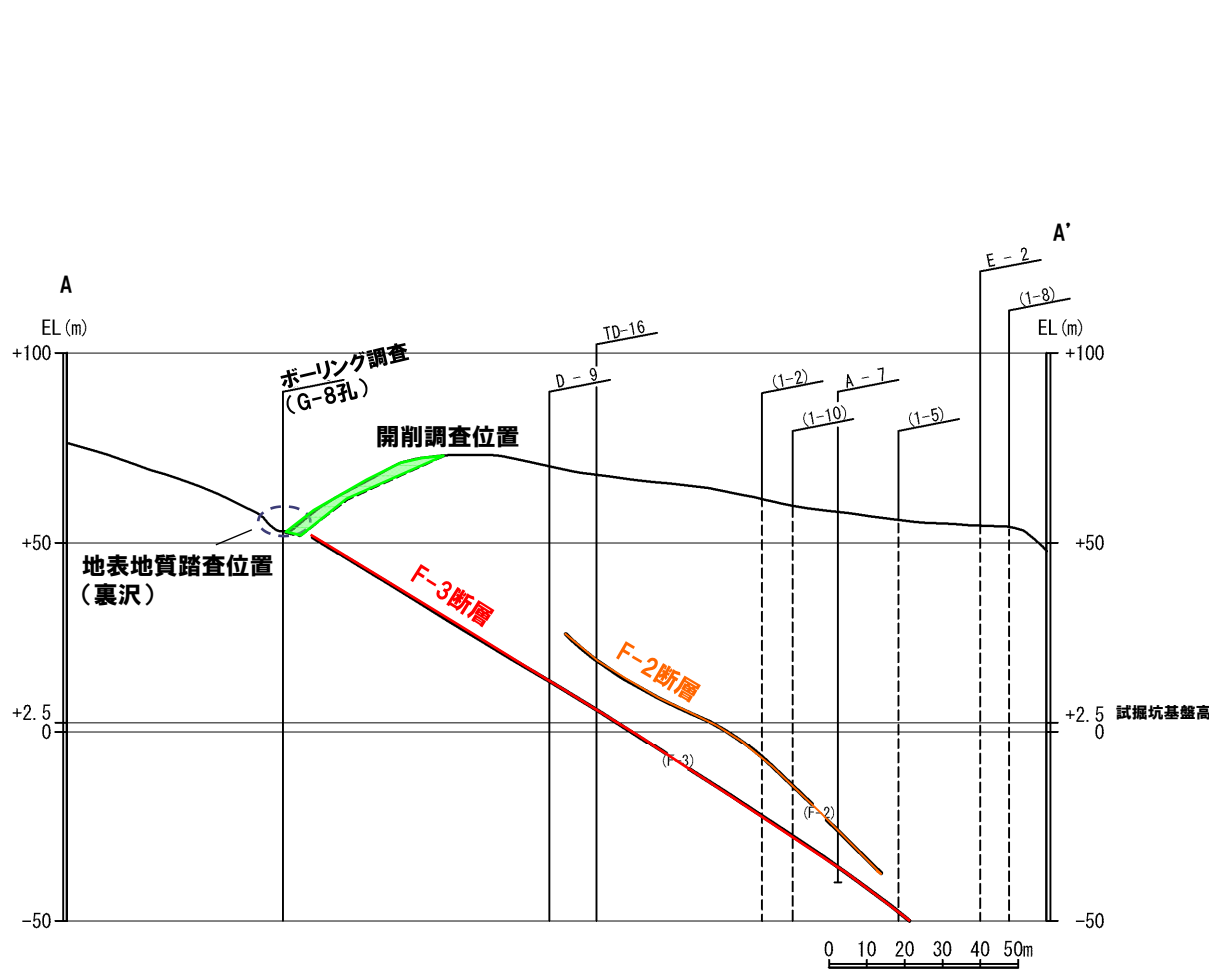
深度84.0m

☐:推定延長位置(深度約64.5m)

# 1.断層の連続性の確認について

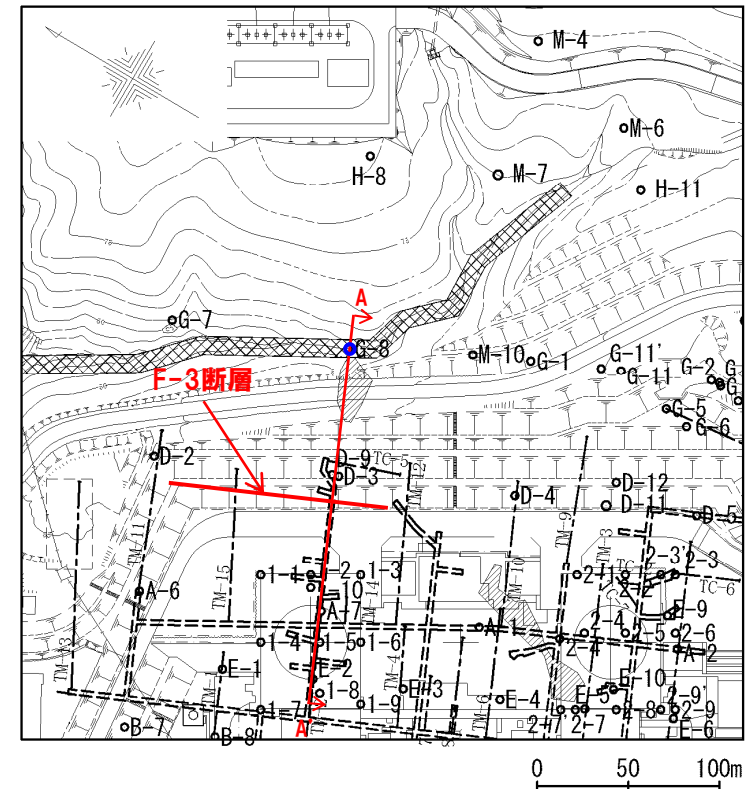
## 【F-3断層の山側への連続について】

- F-3断層の連続性評価にあたっては、F-3断層が火砕岩下部に挟在する砂質凝灰岩、火山礫凝灰岩及び薄い泥質凝灰岩の互層の境界部(主に泥質凝灰岩)沿いに分布する層面断層であることを踏まえ、F-3断層延長部の凝灰岩類の分布を確認し、評価を行っている。
- ボーリング調査、裏沢の露頭調査及び開削調査結果より、試掘坑内で確認されたF-3断層と同様の性状を示す断層は認められない。



調査位置断面図 (A-A' 断面)

凡 例	
○ G-7	1,2号坑 ボーリング調査位置
---	1,2号坑 水平ボーリング調査位置
▨	開削調査位置
▤	露頭調査位置
---	試掘坑

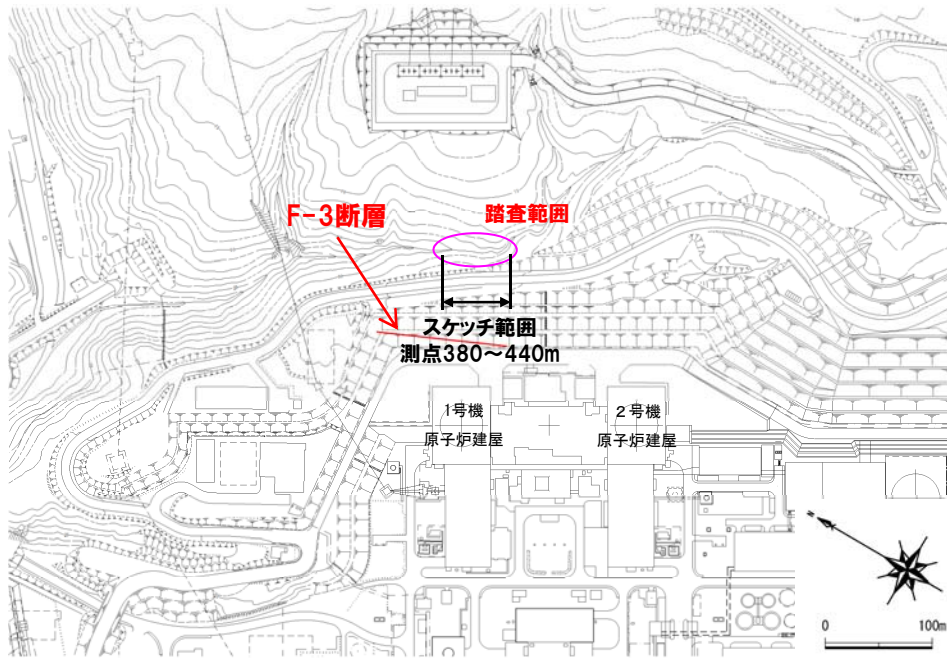


調査位置図 (※断層位置はEL.2.8mで記載)

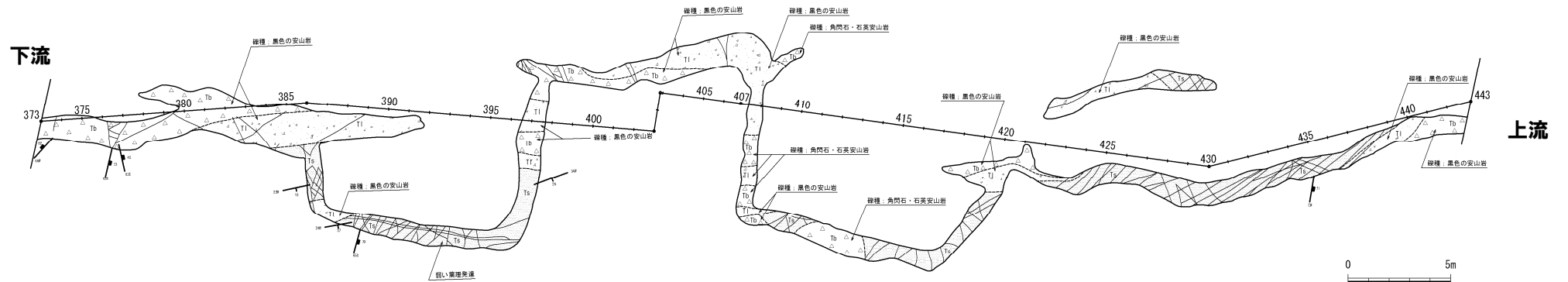
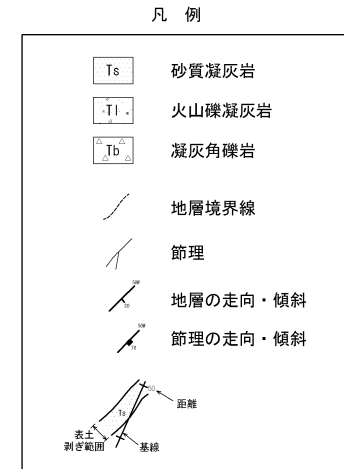
# 1.断層の連続性の確認について

## 【地表地質踏査結果:裏沢】

- 裏沢で実施した地表地質踏査結果では、溪床に連続露頭が確認された。
- 380~440m付近に認められる凝灰岩類は、試掘坑内でF-3断層が認められた地層と同層準の地層と推定される。
- 上記地層内及び地層境界では、断層は認められない。



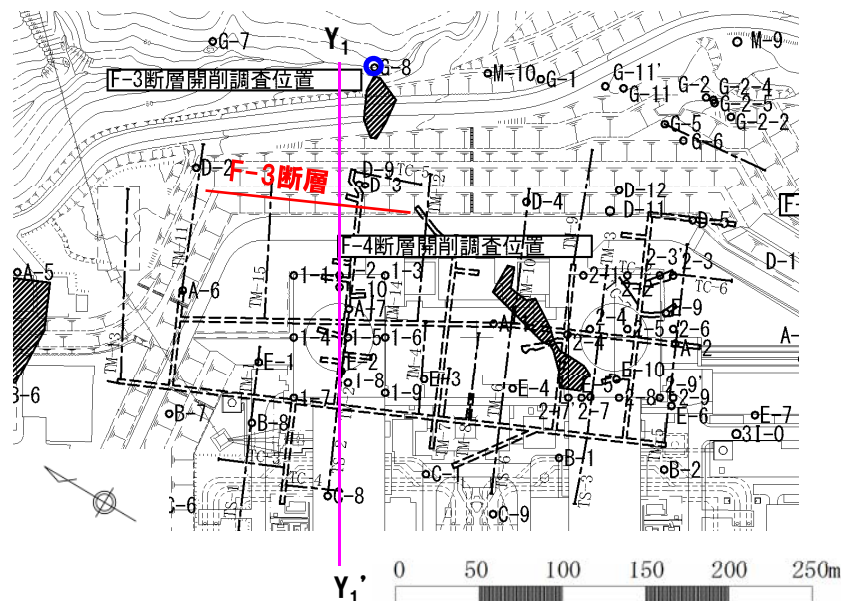
地表地質踏査位置図(※断層位置はEL.2.8mで記載)



裏沢露頭スケッチ

# 1.断層の連続性の確認について

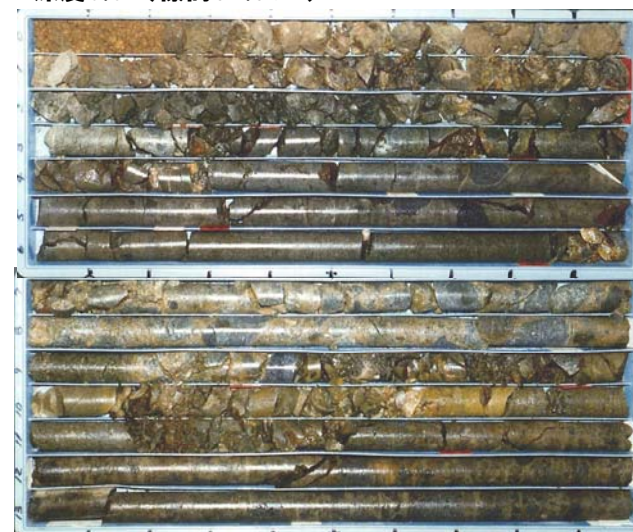
## 【ボーリング調査結果:G-8孔】



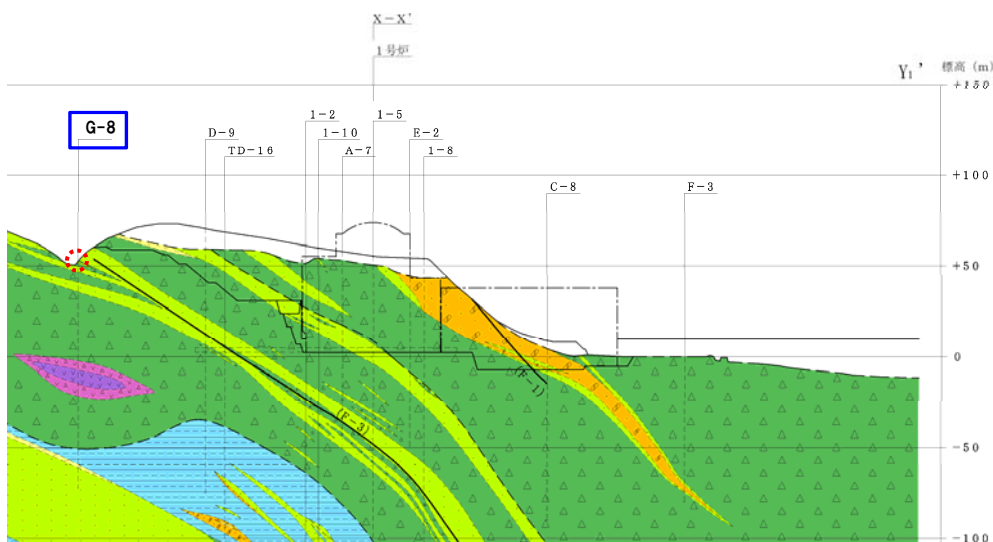
調査位置図 (※断層位置はEL.2.8mで記載)

○G-8孔では、開削調査範囲の下位にあたる深度6~7m付近で凝灰角礫岩の下位に砂質凝灰岩が認められるが、条線、鏡肌、粘土の挟在等は認められない。

深度0.0m(標高52.58m)



深度14.0m(標高38.58m)



地質断面図(Y<sub>1</sub>-Y<sub>1</sub>'断面)

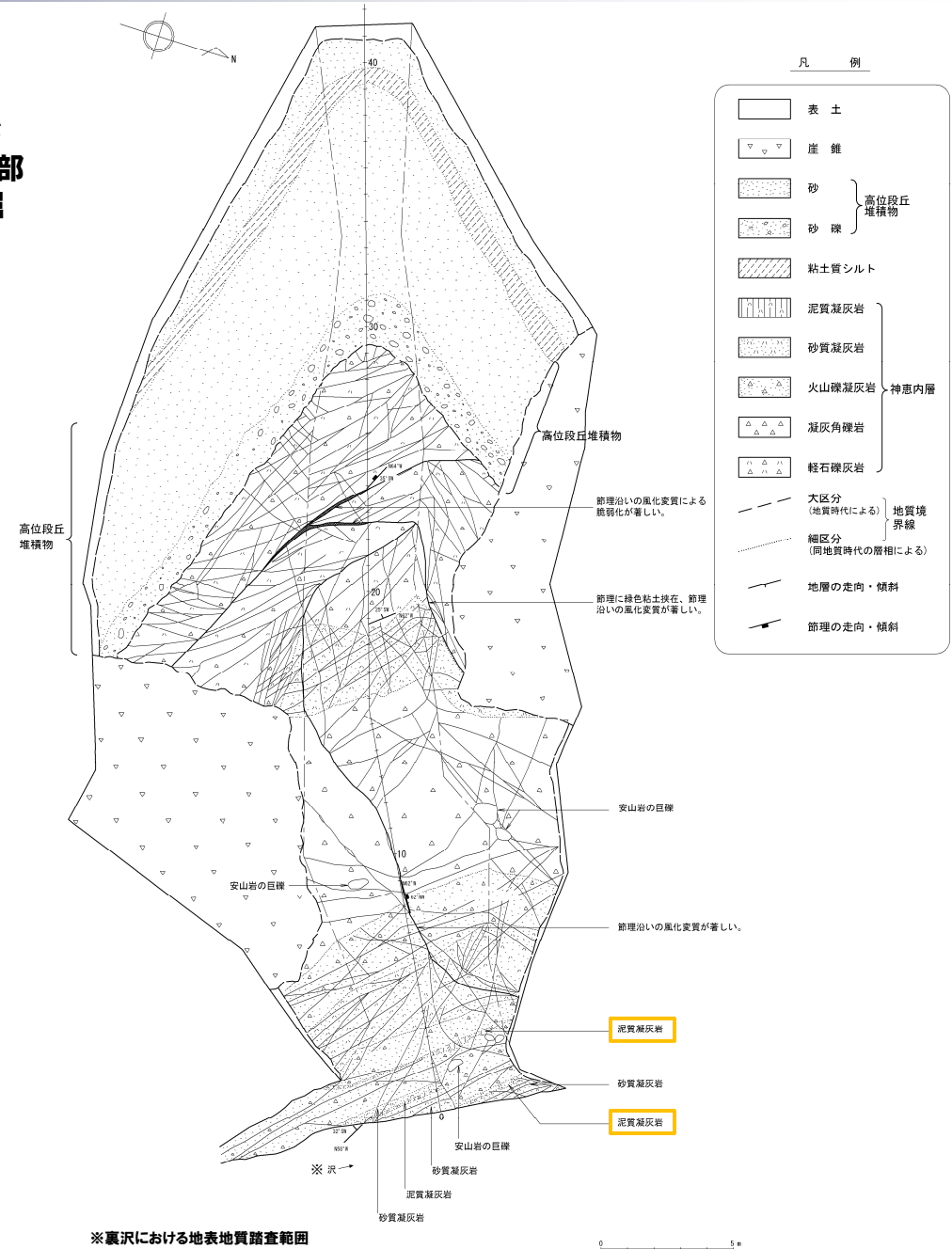
# 1.断層の連続性の確認について

## 【開削調査結果】

○開削調査位置では、試掘坑で確認されたF-3断層の延長部と推定される砂質凝灰岩、火山礫凝灰岩及び薄い泥質凝灰岩の互層の境界部では、断層は認められない。開削調査、地表地質踏査結果より、試掘坑と開削箇所間の神恵内層中でせん滅しているものと判断される。



調査箇所全景



開削調査位置露頭スケッチ

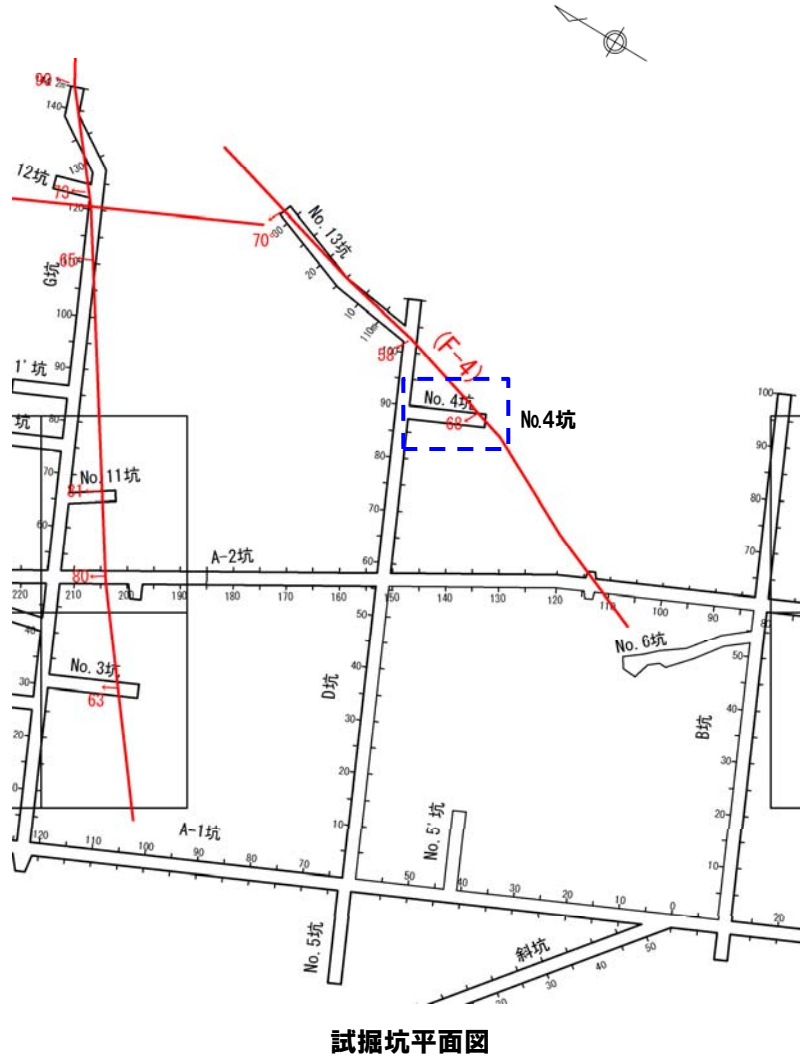


# 1.断層の連続性の確認について

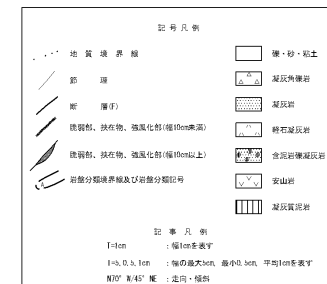
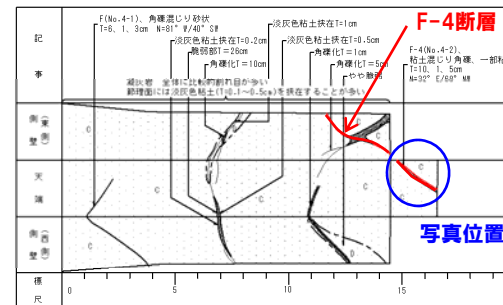
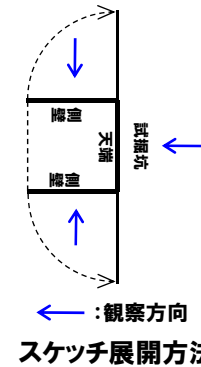
## (4)F-4断層

### 【試掘坑調査結果:No.4坑】

○No.4坑では、F-4断層は砂質凝灰岩中に認められ、走向・傾斜はN32° E/68° Wを示す。



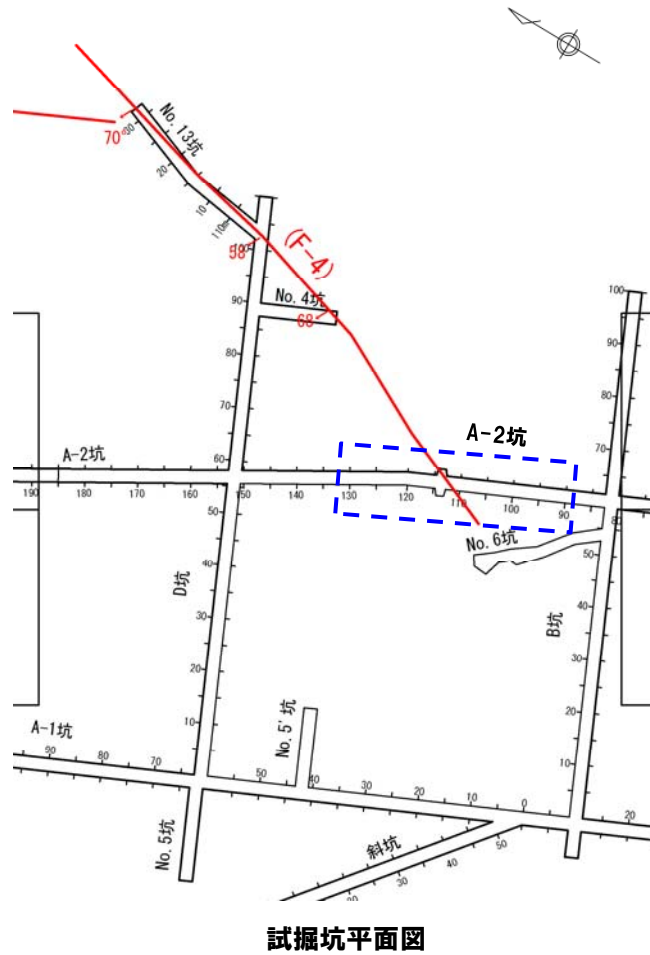
F-4断層  
F-4断層露頭写真(No.4坑)  
切羽



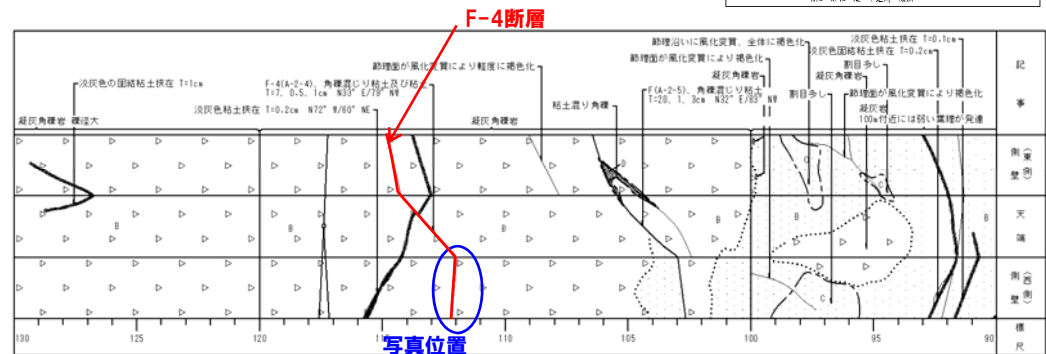
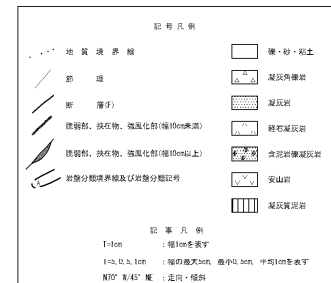
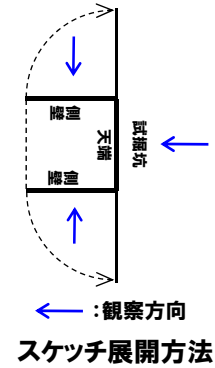
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:A-2坑】

○A-2坑では、F-4断層は凝灰角礫岩中に認められ、走向・傾斜はN33° E/79° Wを示す。



F-4断層露頭写真(A-2坑)  
始点からの距離113m

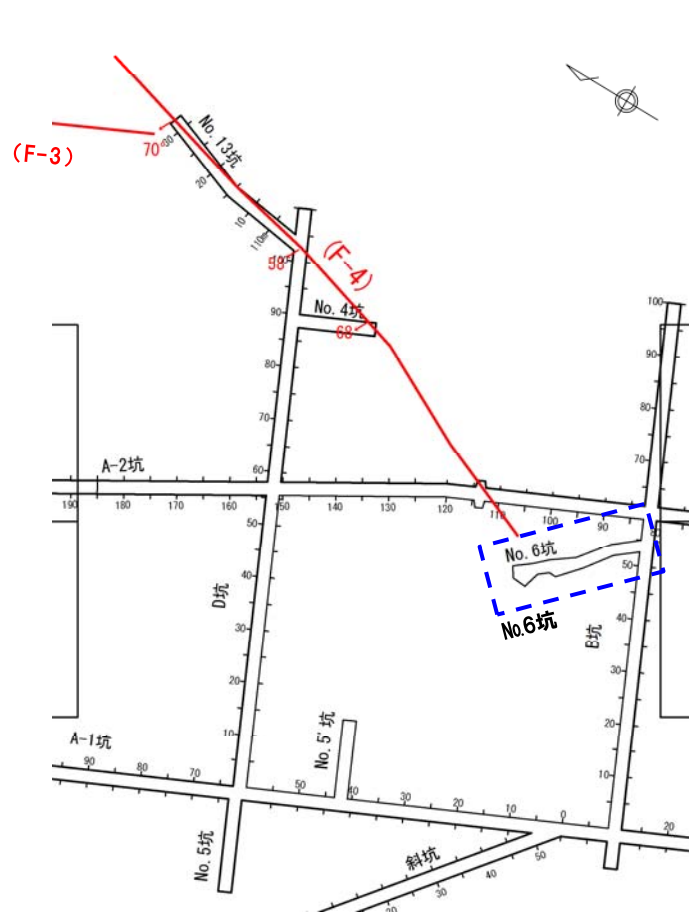


試掘坑スケッチ  
(A-2坑始点からの距離90~130m)

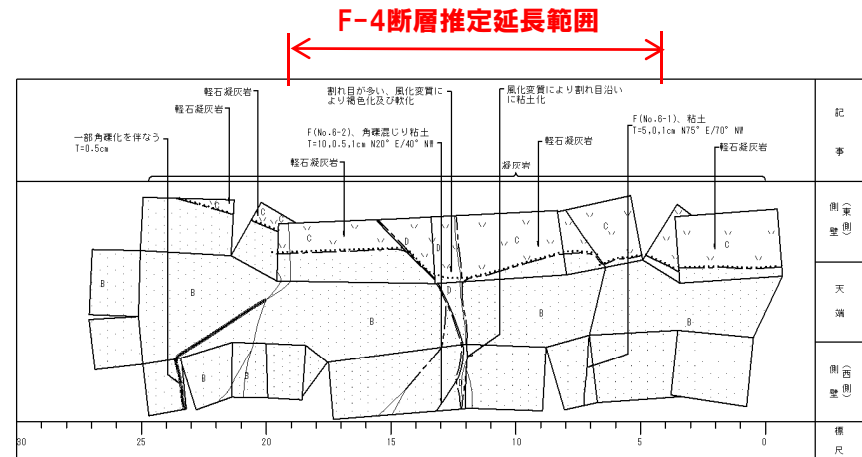
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:No.6坑】

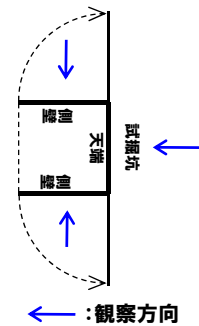
○No.6坑では、F-4断層と性状が異なる小段層が2条認められるが、F-4断層の延長と推定されるものは認められない。



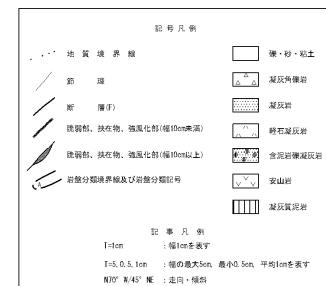
試掘坑平面図



## 試掘坑スケッチ (No.6坑始点からの距離0~25m)



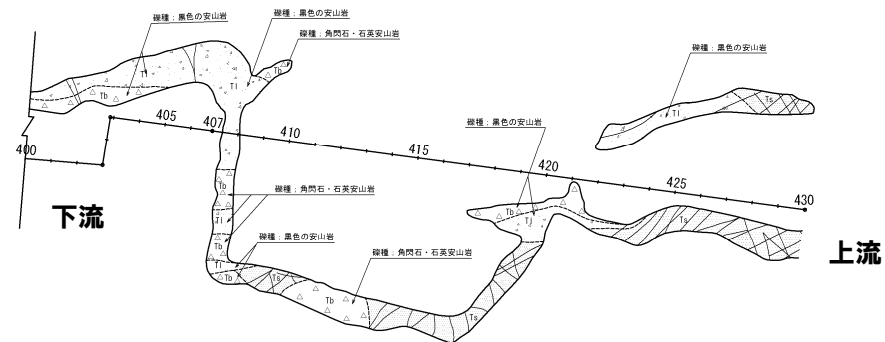
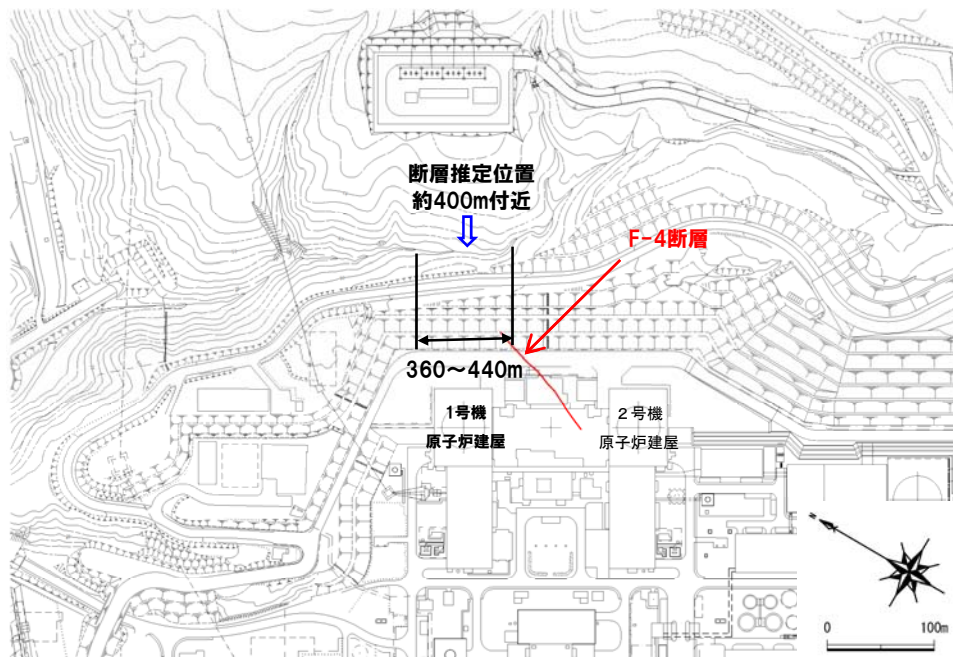
スケッチ展開方法



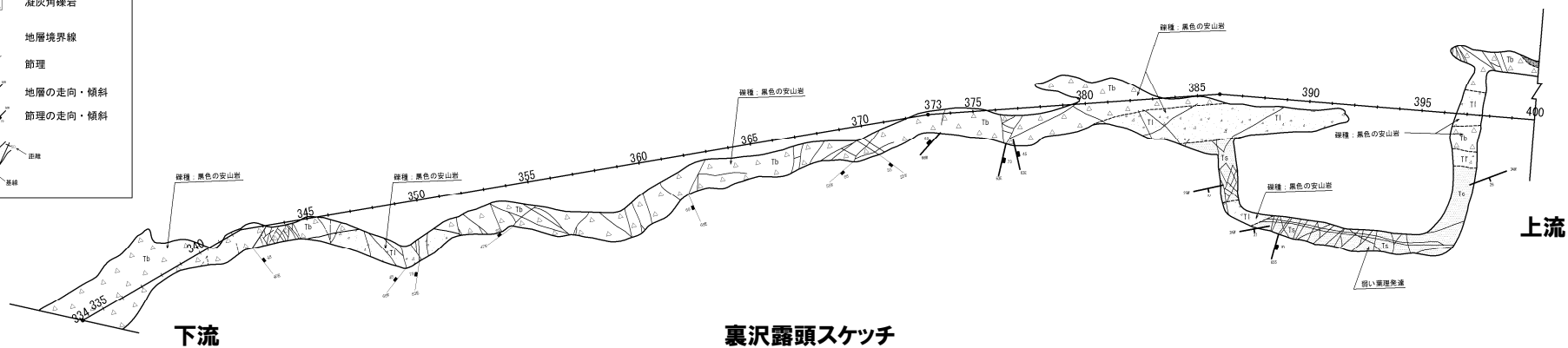
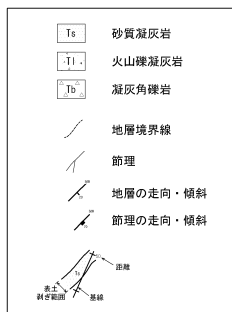
# 1.断層の連続性の確認について

## 【地表地質踏査結果:裏沢】

○裏沢で実施した地表地質踏査結果では、試掘坑で確認された走向・傾斜から推定されるF-4断層の延長部付近には、溪床に連続露頭が確認され、試掘坑で確認されたF-4断層と同様の性状を示す断層は認められない。



調査位置図（※断層位置はEL.2.8mで記載）



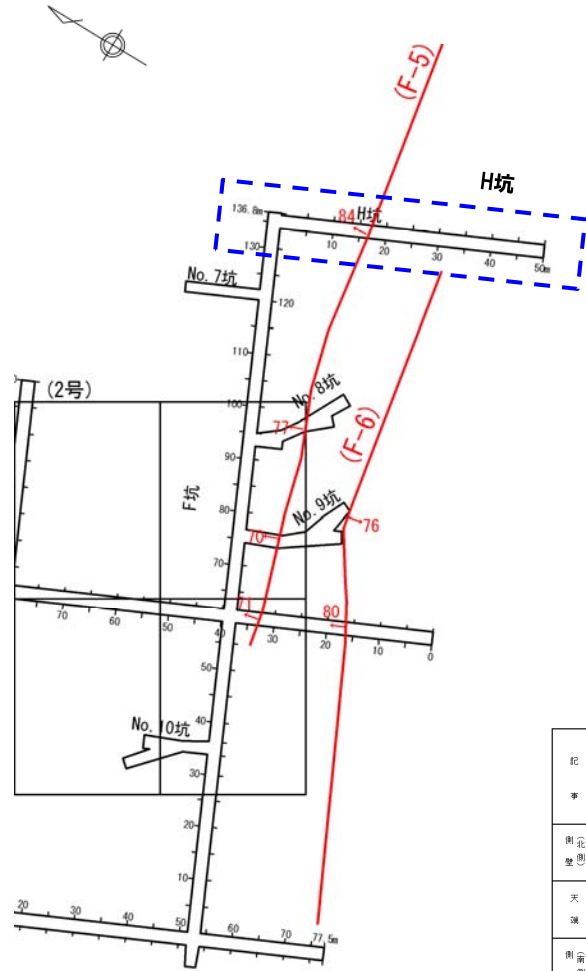
裏沢露頭スケッチ

# 1.断層の連続性の確認について

## (5)F-5断層

### 【試掘坑調査結果:H坑】

○H坑では、F-5断層は凝灰角礫岩中に認められ、走向・傾斜はE-W/84° Nを示す。



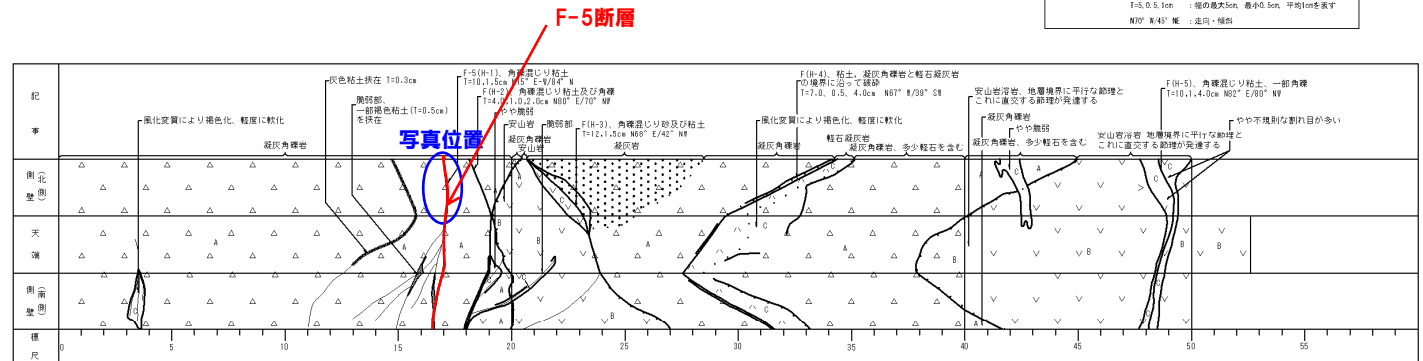
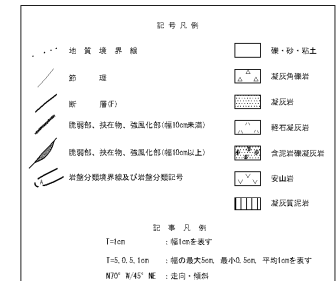
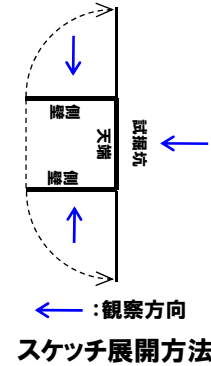
試掘坑平面図



(西側壁)

F-5断層

F-5断層露頭写真(H坑)  
始点からの距離17m

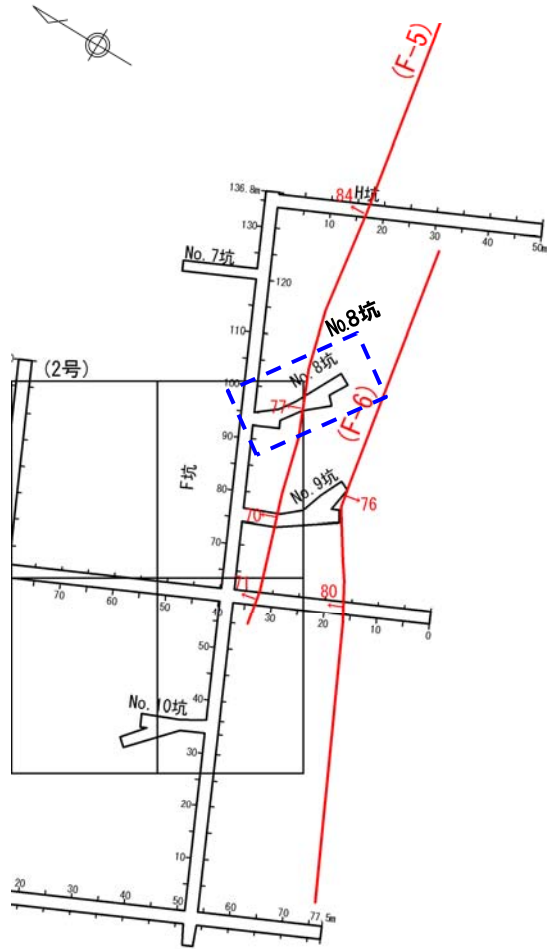


試掘坑スケッチ  
(H坑始点からの距離0~50m)

# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:No.8坑】

○No.8坑では、F-5断層は安山岩中に認められ、走向・傾斜はN75° E/77° Wを示す。



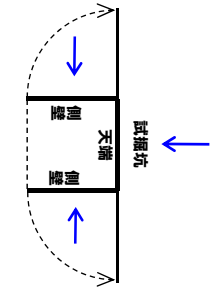
試掘坑平面図



(東側壁)

F-5断層露頭写真 (No.8坑)  
始点からの距離8m

F-5断層

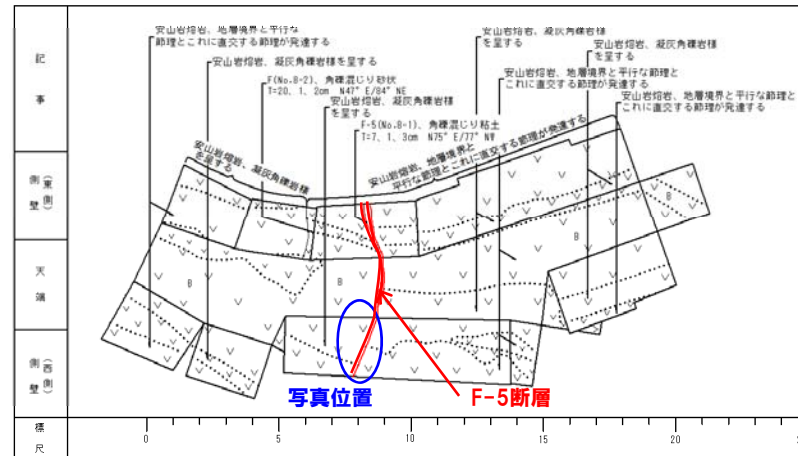


← : 観察方向

スケッチ展開方法

記号凡例	
---	地質境界線
---	断層
---	断層(厚)
---	断層制、鉄石物、強風化帯(幅10cm未満)
---	断層制、鉄石物、強風化帯(幅10cm以上)
---	岩盤分層境界線及び岩盤分層記号
□	礫・砂・粘土
□	凝灰岩
□	軽石凝灰岩
□	含泥岩凝灰岩
□	安山岩
□	凝灰質泥岩

記号凡例  
 1cm : 幅1cmを表す  
 1:5, 0.5:1cm : 幅の最大5cm, 最小0.5cm, 平均1cmを表す  
 N75° E/77° W : 走向・傾斜

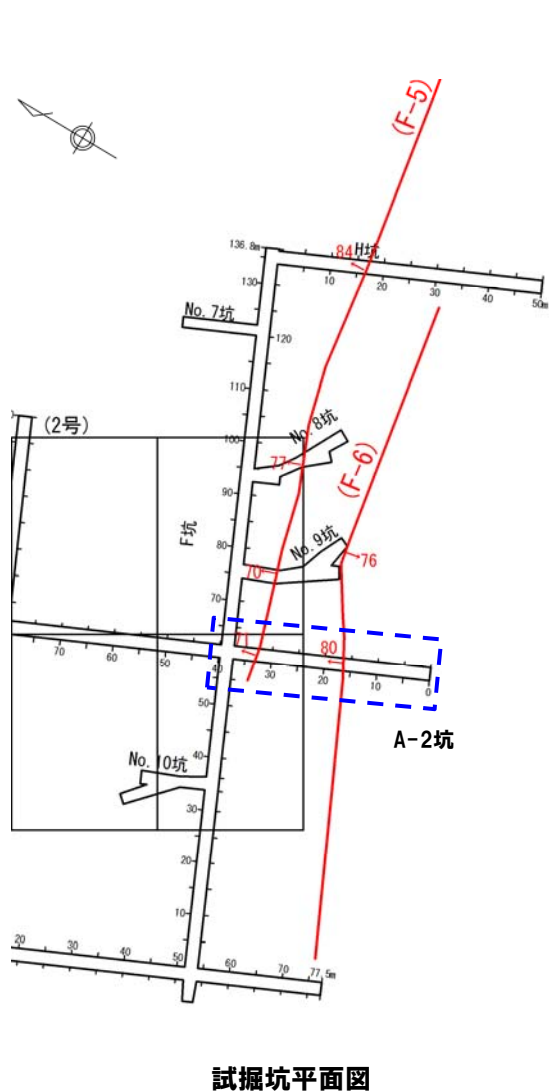


試掘坑スケッチ  
(No.8坑始点からの距離0~20m)

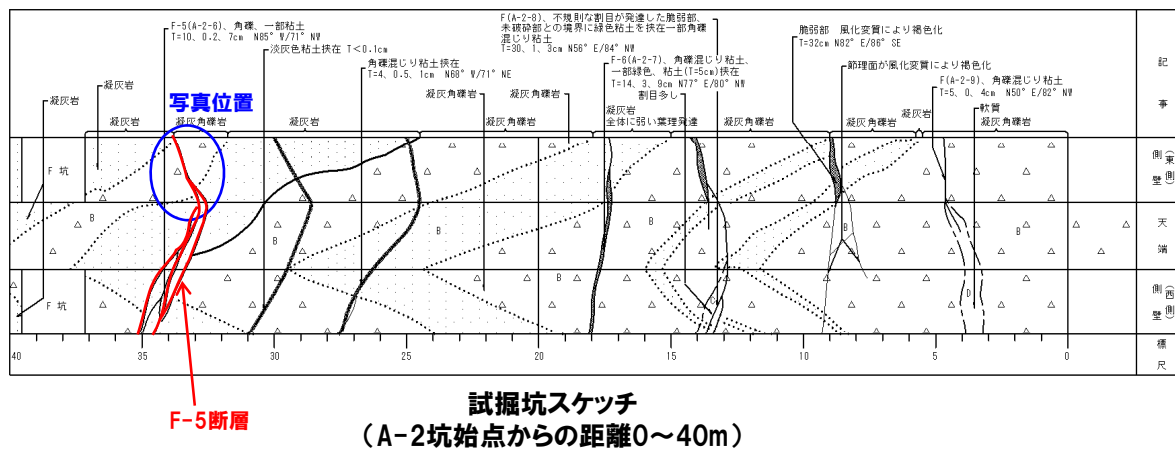
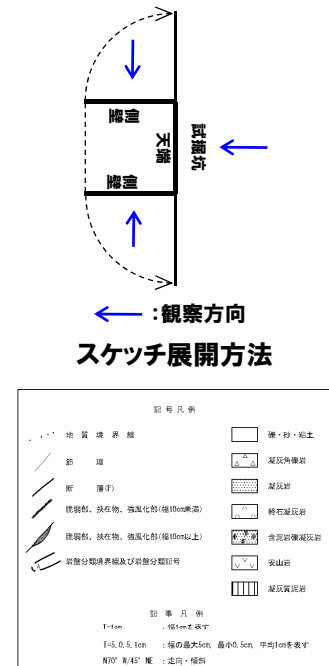
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:A-2坑】

○A-2坑では、F-5断層は凝灰角礫岩及び砂質凝灰岩中に認められ、走向・傾斜は N85° W/71° Wを示す。



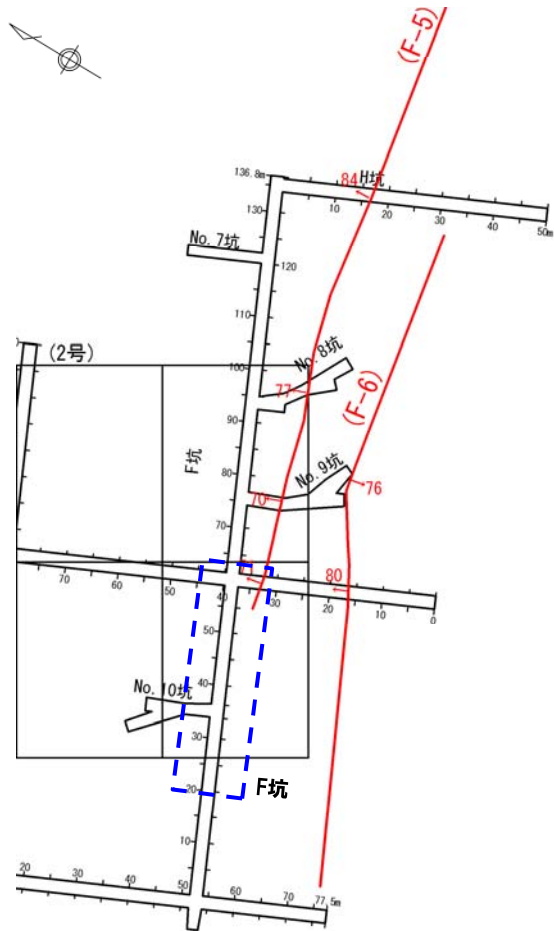
F-5断層露頭写真(A-2坑)  
始点からの距離34m



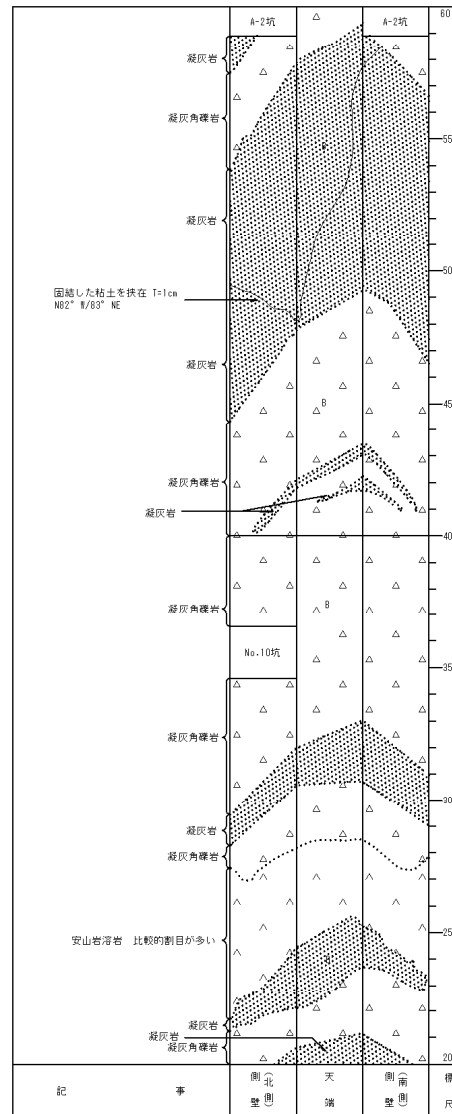
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:F坑】

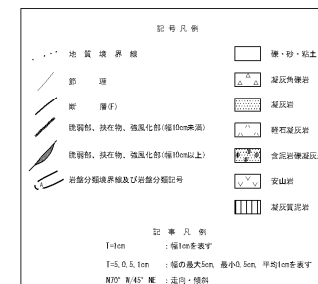
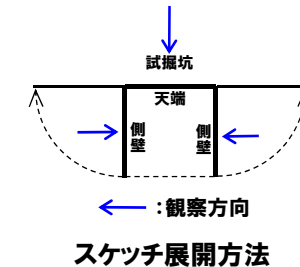
○他の試掘坑で確認した走向・傾斜から推定されるF-5断層の延長部付近には、同様の性状を示す断層は認められない。



試掘坑平面図



F-5断層推定延長範囲



試掘坑スケッチ (F坑始点からの距離20~60m)

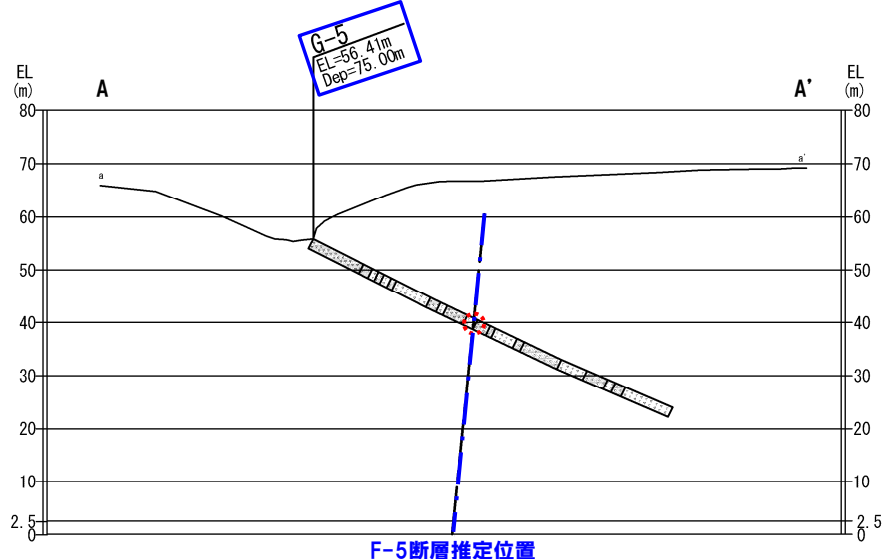


# 1.断層の連続性の確認について

## 【ボーリング調査結果:G-5孔】

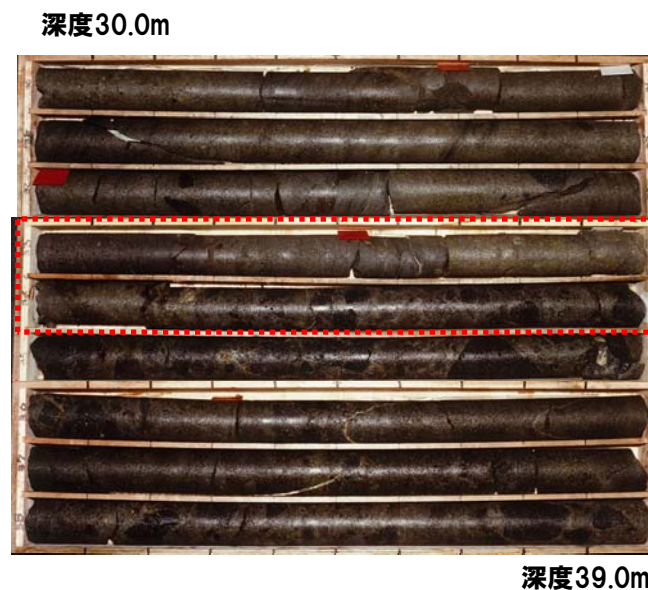


調査位置図（※断層位置はEL.2.8mで記載）



調査位置断面図(G孔ボーリング付近断面)

○G-5孔(斜めボーリング)では、試掘坑で確認された走向・傾斜から推定されるF-5断層の延長部付近に条線、鏡肌、粘土の挟在等は認められない。



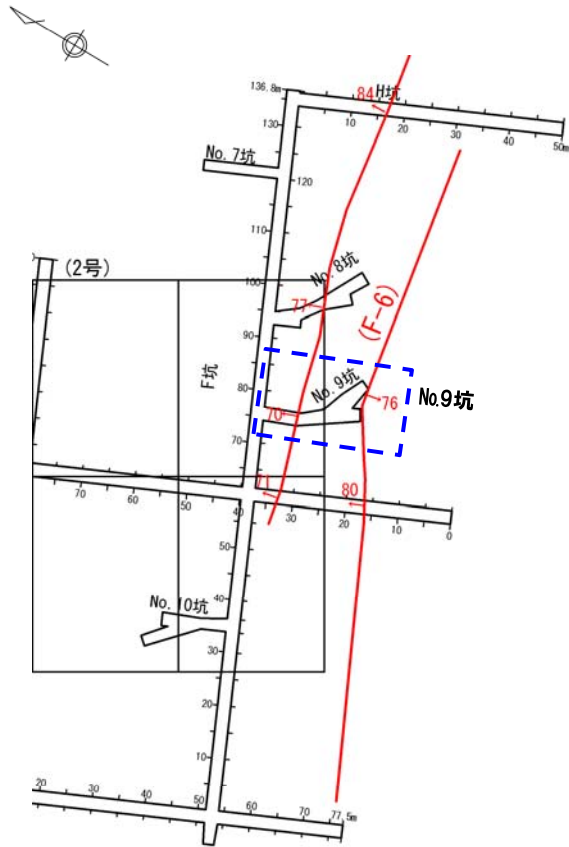
：推定延長位置(深度約34m)

# 1.断層の連続性の確認について

## (6)F-6断層

### 【試掘坑調査結果:No.9坑】

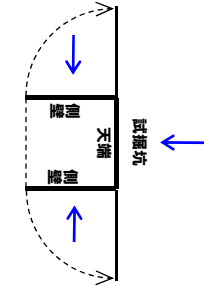
○No.9坑では、F-6断層は火山礫凝灰岩及び砂質凝灰岩中に認められ、走向・傾斜はN83° E/76° Eを示す。



試掘坑平面図



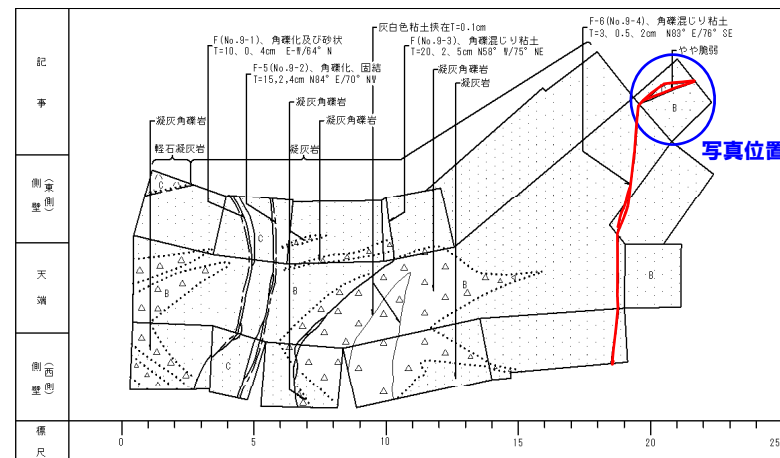
F-6断層露頭写真(No.9坑)  
切羽



観察方向  
スケッチ展開方法

記号凡例			
.....	地質境界線	□	礫・砂・粘土
—	断層	▽	凝灰角礫岩
— (薄)	断層(薄)	▨	凝灰岩
— (粗)	粗弱断層(粗)	▩	軽石凝灰岩
— (粗)	粗弱断層(粗)	▩ (点)	含泥岩凝灰岩
— (粗)	粗弱断層(粗)	▽ (点)	安山岩
— (粗)	粗弱断層(粗)	▩ (点)	凝灰質泥岩

記号凡例  
 T=1cm : 幅1cmを表す  
 T=5, 0.5, 1cm : 幅の最大5cm, 最小0.5cm, 平均1cmを表す  
 傾斜 N°E° E : 走向・傾斜

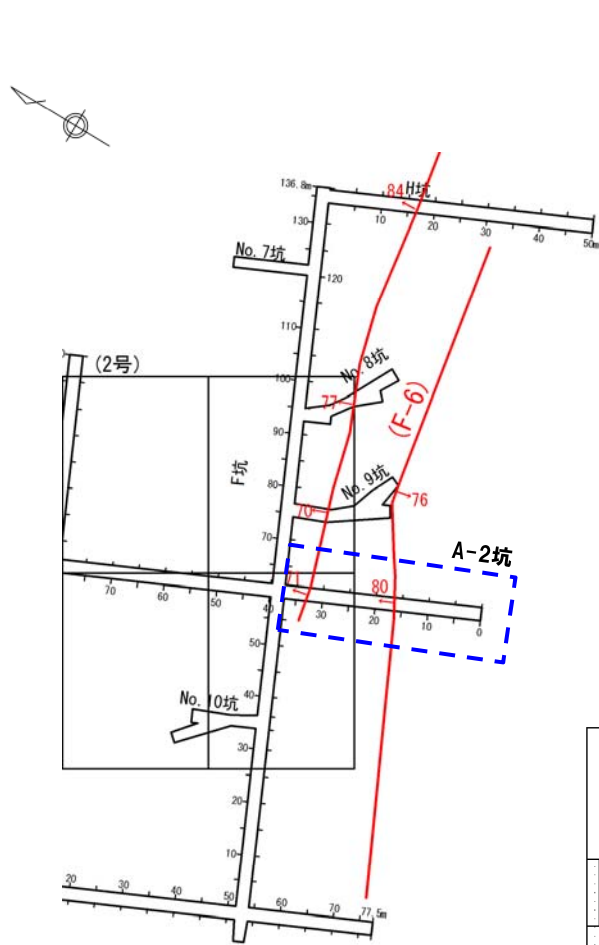


試掘坑スケッチ  
(No.9坑始点からの距離0~20m)

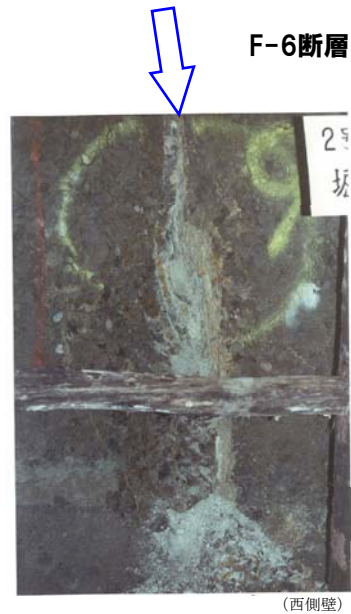
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:A-2坑】

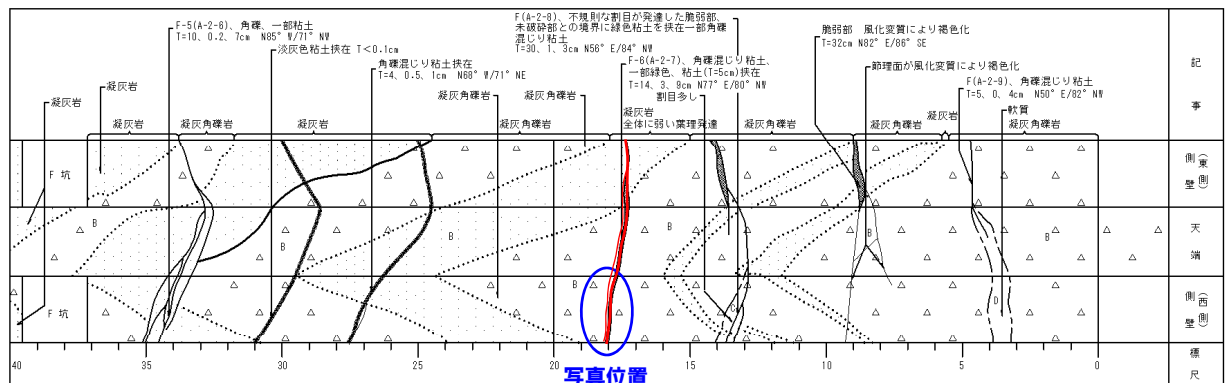
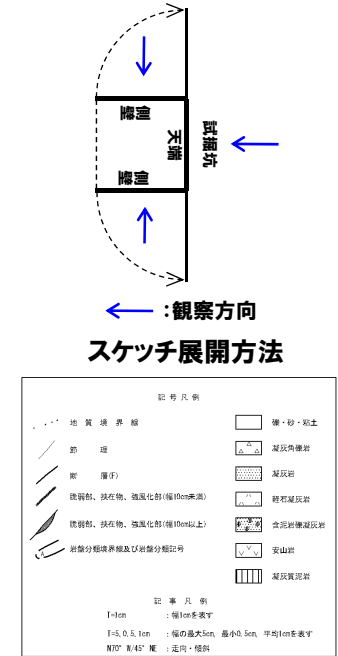
○A-2坑では、F-6断層は凝灰角礫岩中に認められ、走向・傾斜はN77° E/80° Wを示す。



試掘坑平面図



F-6断層露頭写真(A-2坑)  
始点からの距離約18m

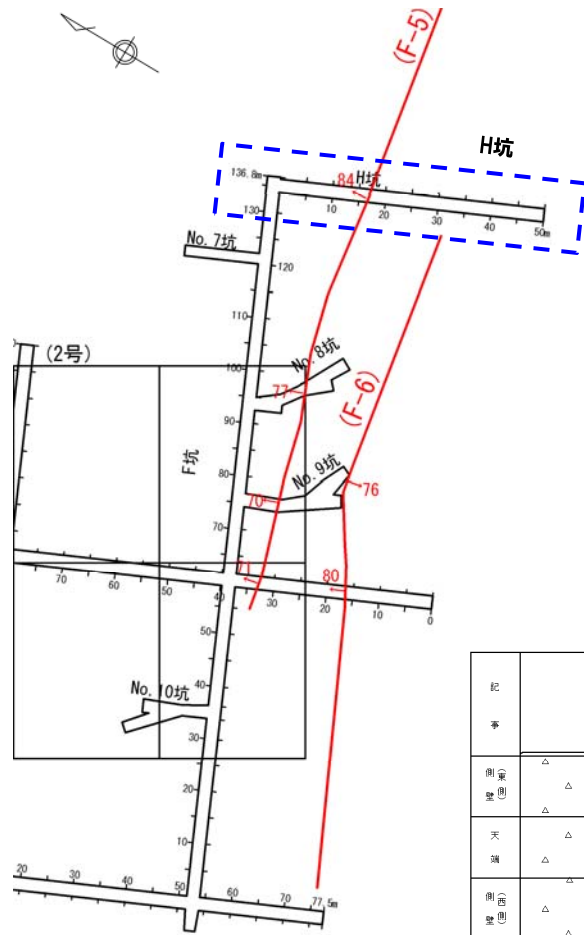


試掘坑スケッチ  
(A-2坑始点からの距離0~40m)

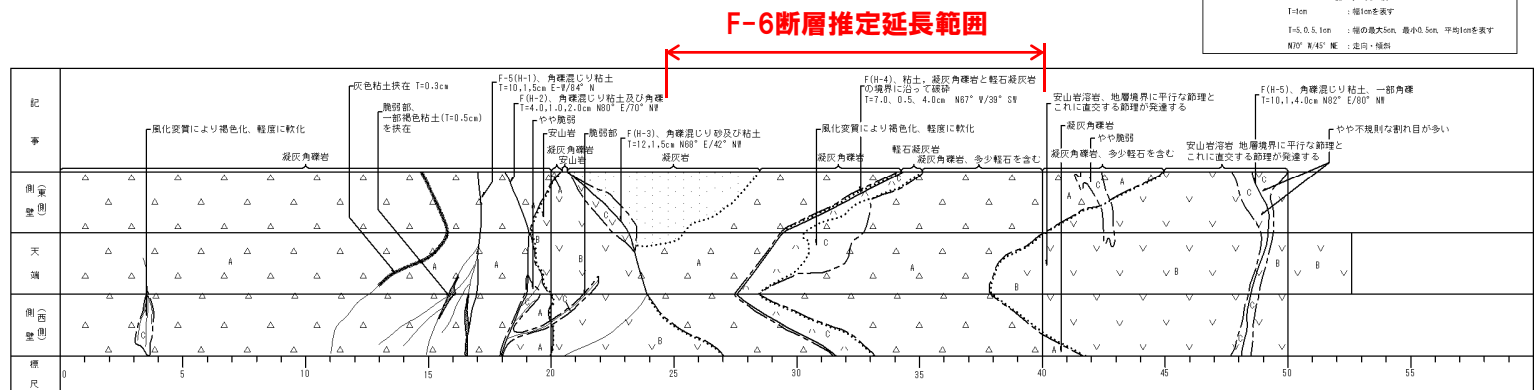
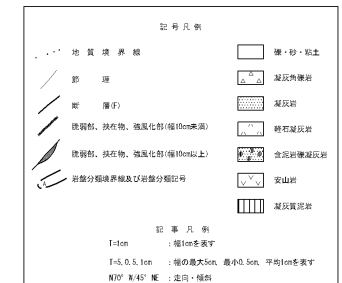
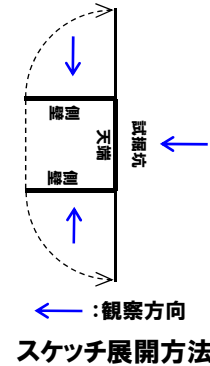
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:H坑】

○他の試掘坑で確認された走向・傾斜から推定されるF-6断層の延長部付近には、同様の性状を示す断層は認められない。



試掘坑平面図

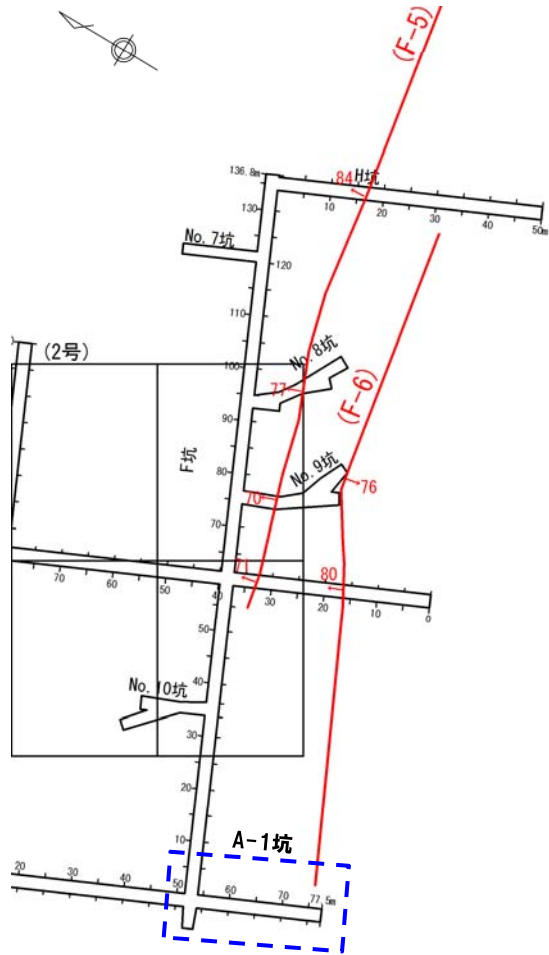


試掘坑スケッチ  
(H坑始点からの距離0~50m)

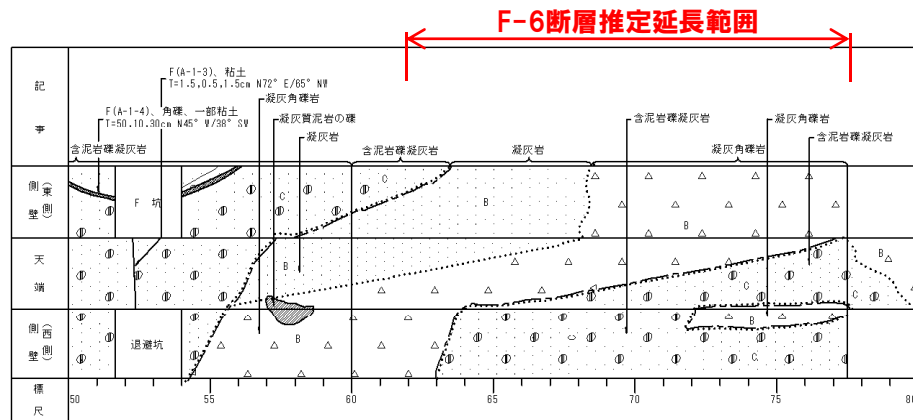
# 1.断層の連続性の確認について

## 【試掘坑調査結果:A-1坑】

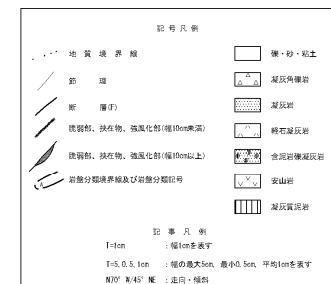
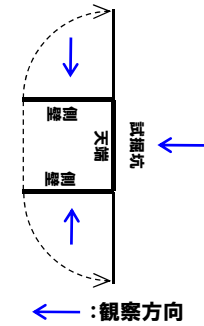
○他の試掘坑で確認された走向・傾斜から推定されるF-6断層の延長部付近には、同様の性状を示す断層は認められない。



試掘坑平面図



試掘坑スケッチ  
(A-1坑始点からの距離50~77.5m)

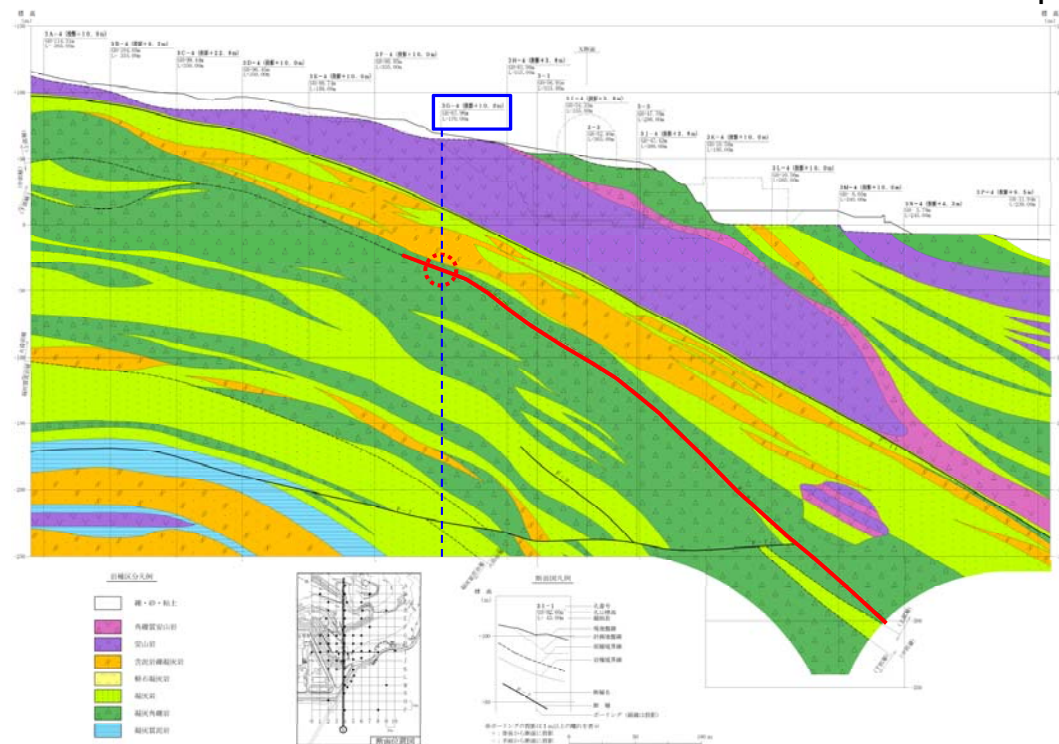


# 1.断層の連続性の確認について

## (7)F-8断層

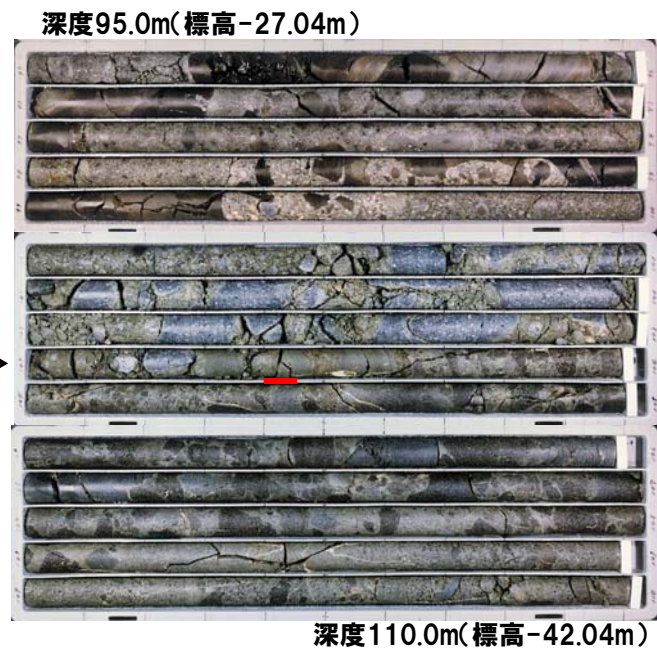
【ボーリング調査結果:3G-4孔】

○深度103.4mの神恵内層の下部層と上部層の境界付近で、破砕部が認められる。

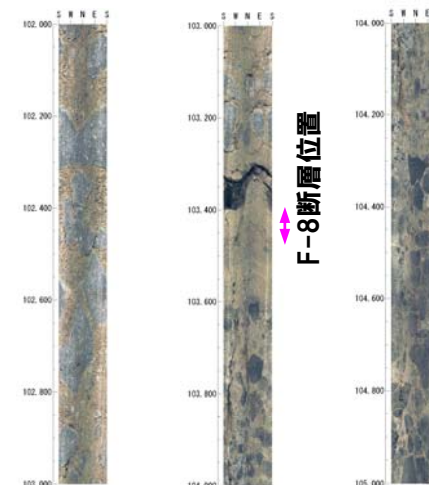


地質断面図(4Line)

F-8断層位置 →



— :破砕部



ボアホールカメラ画像(深度102~105m)

# 1.断層の連続性の確認について

【ボーリング調査結果:3F-4孔】

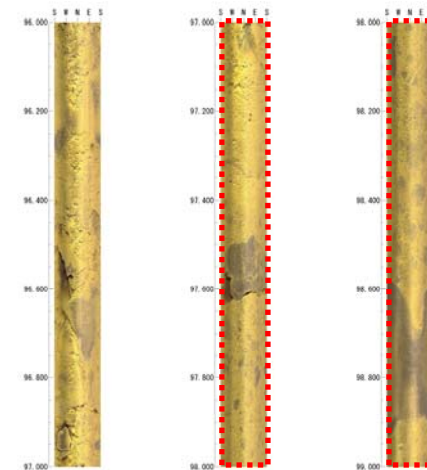
○ボーリング調査から推定されるF-8断層の延長部付近には、F-8断層と同じ性状を示す断層は認められない。

深度90.0m(標高-9.07m)

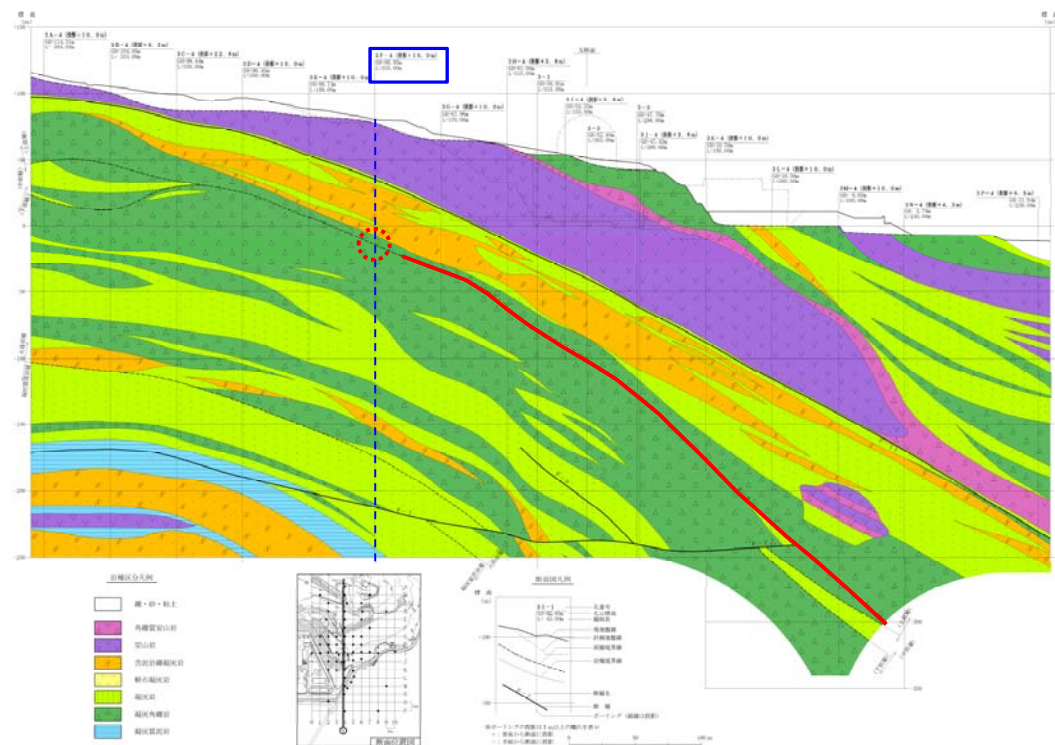


深度105.0m(標高-24.07m)

：推定延長位置(深度約97.3m)



ボアホールカメラ画像(深度96~99m)



地質断面図(4Line)

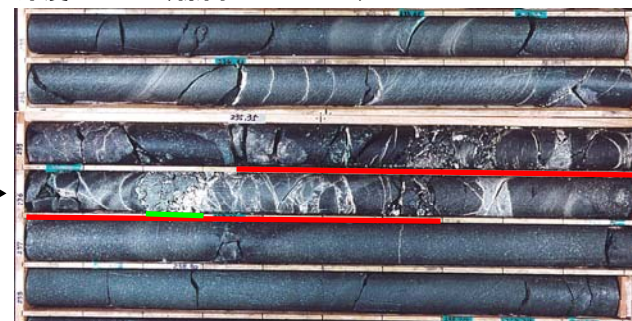
# 1.断層の連続性の確認について

## (8)F-9断層

【ボーリング調査結果:3-1孔】

○深度256m前後の凝灰岩層に破砕部が、256.2m付近に粘土の挟在が認められる。

深度233.0m(標高-176.09m)

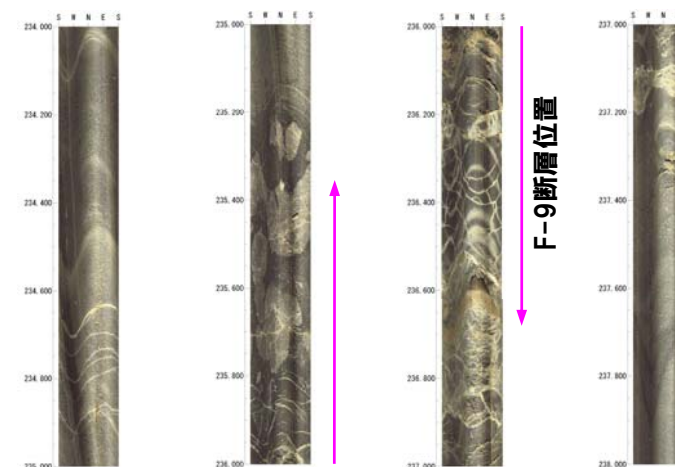


F-9断層位置 →

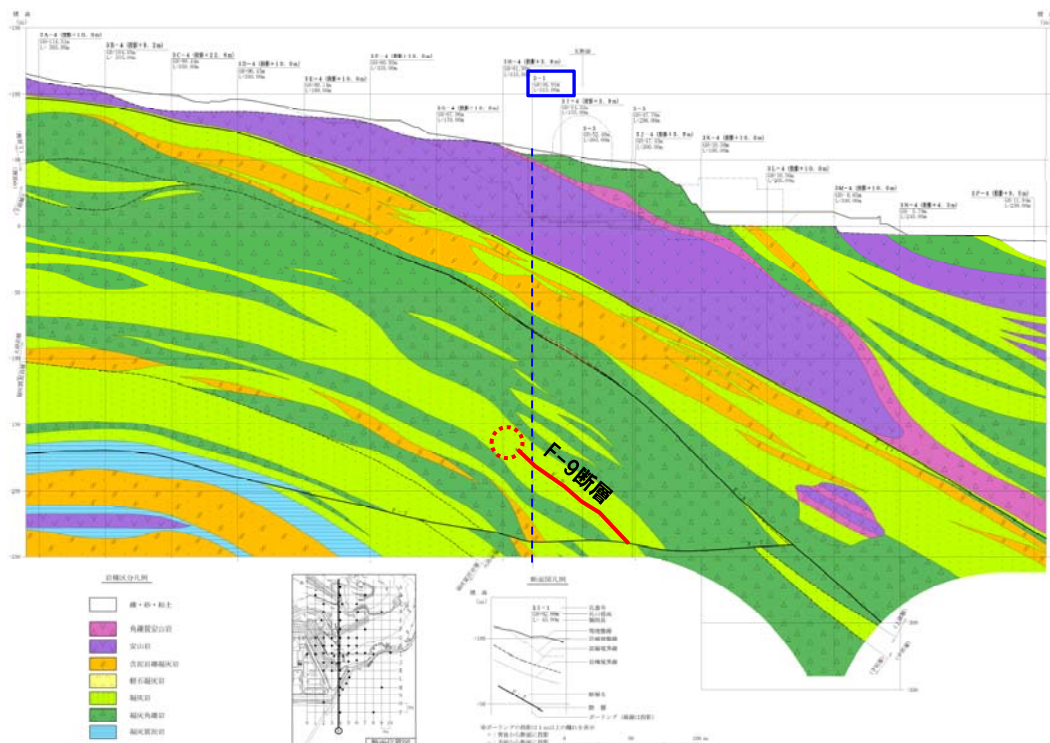
深度239.0m(標高-182.09m)

— :破砕部      — :粘土部

ボーリングコア写真



ボアホールカメラ画像(深度234~238m)



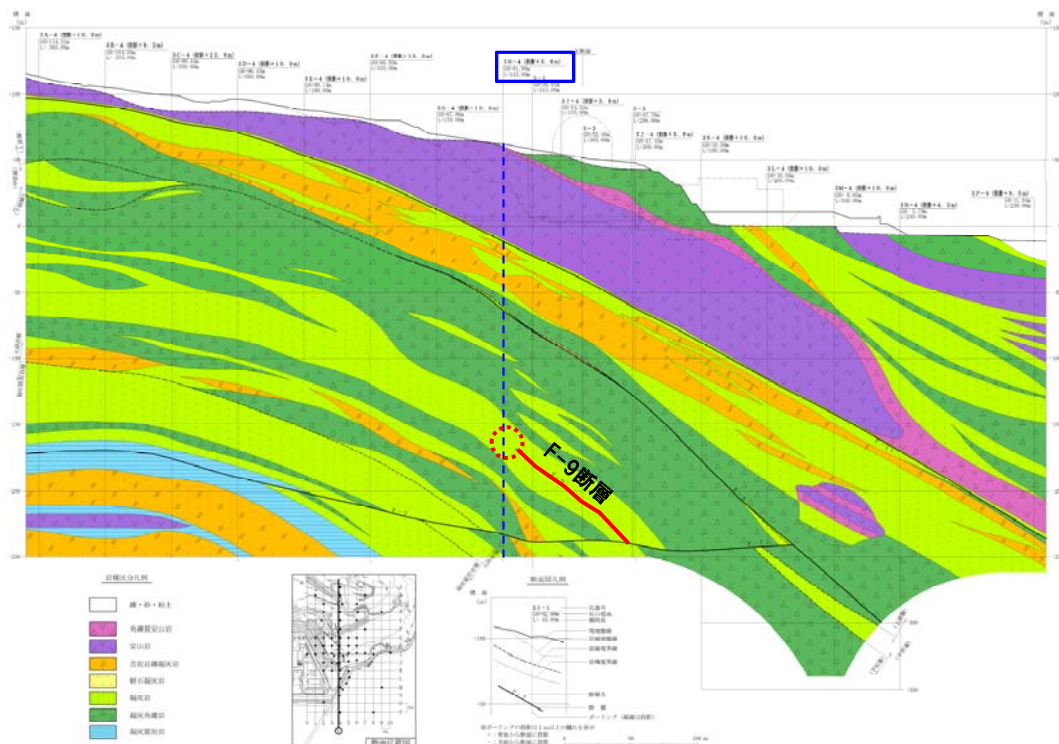
地質断面図(4Line)



# 1.断層の連続性の確認について

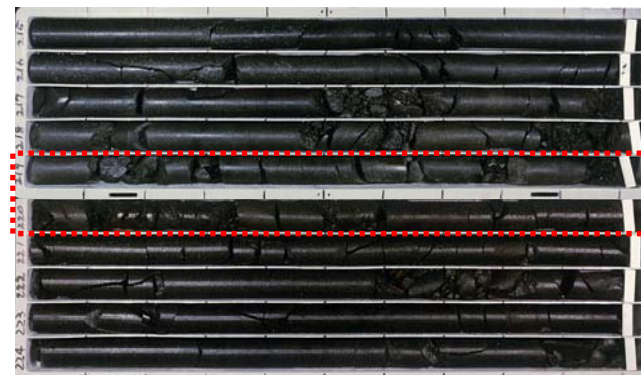
## 【ボーリング調査結果:3H-4孔】

○ボーリング調査から推定されるF-9断層の延長部付近には、F-9断層と同じ性状を示す断層は認められない。



地質断面図(4Line)

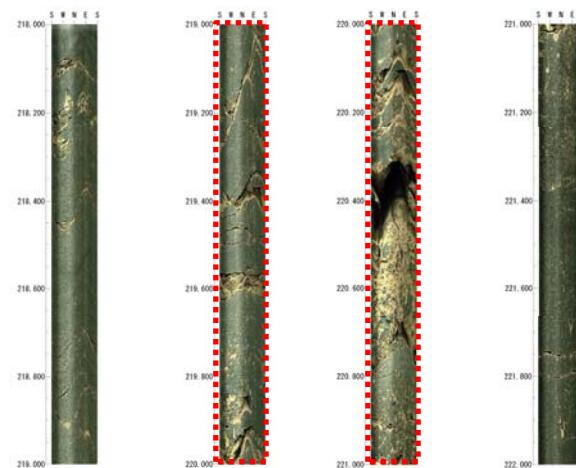
深度215.0m(標高-153.02m)



深度225.0m(標高-163.02m)

☐ : 推定延長位置(深度約220m)

ボーリングコア写真

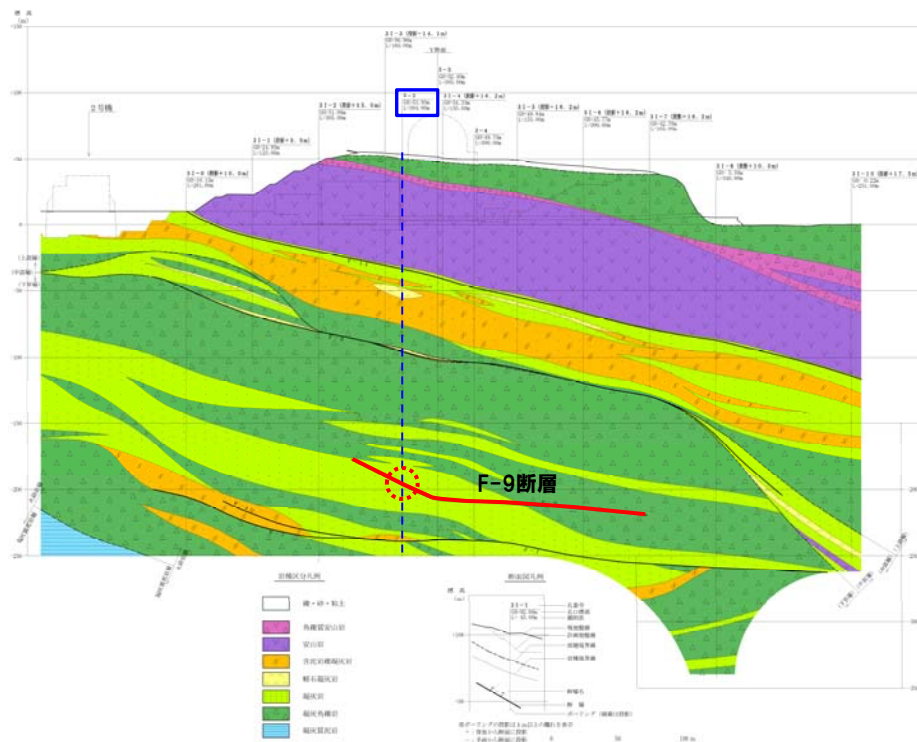


ボアホールカメラ画像(深度218~222m)

# 1.断層の連続性の確認について

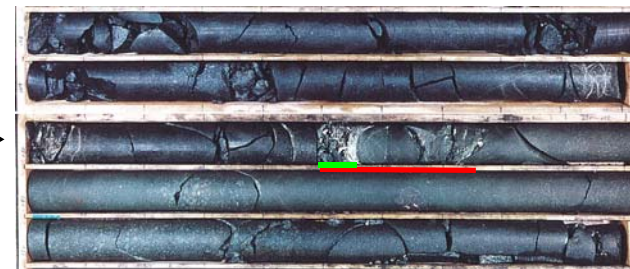
【ボーリング調査結果:3-2孔】

○深度250.5m付近の凝灰岩層に、破砕部及び粘土の挟在が認められる。



地質断面図(I-Line)

深度248.0m(標高-194.07m)



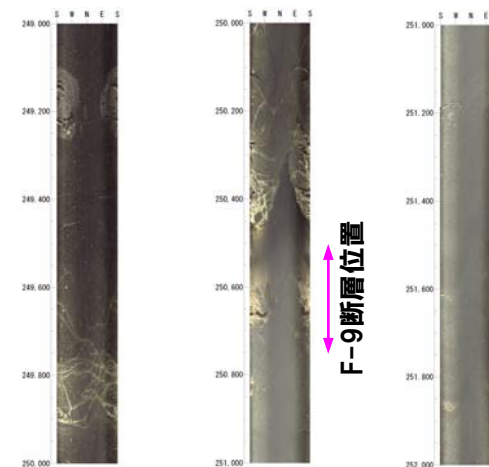
F-9断層位置 →

深度253.0m(標高-199.07m)

— :破砕部

— :粘土部

ボーリングコア写真

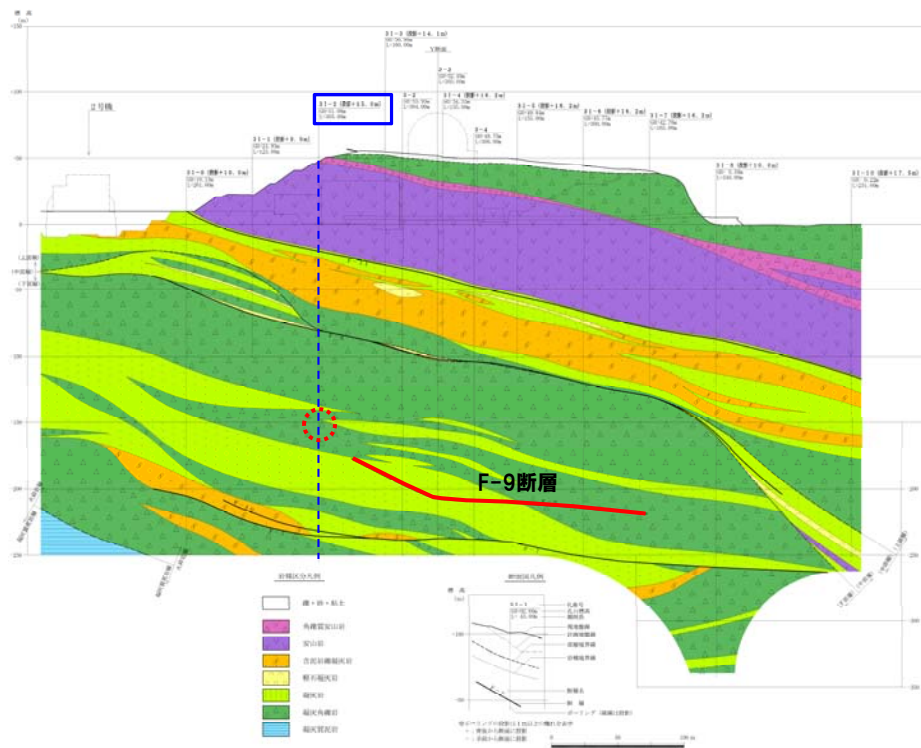


ボアホールカメラ画像(深度249~252m)

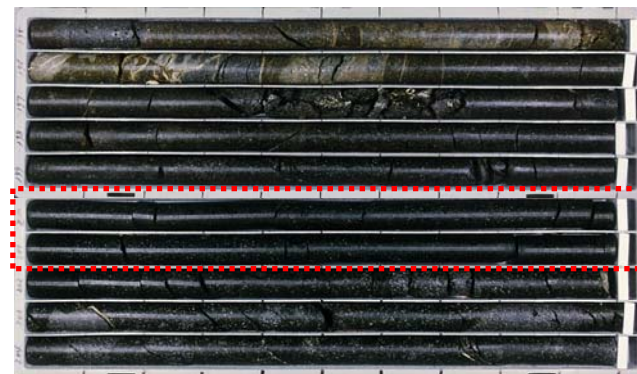
# 1.断層の連続性の確認について

## 【ボーリングコア写真:3I-2孔】

- ボーリング調査から推定されるF-9断層の延長部付近には、F-9断層と同じ性状を示す断層は認められない。



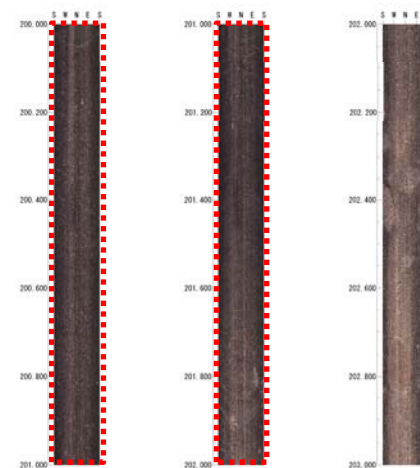
深度195.0m(標高-143.92m)



深度205.0m(標高-153.92m)

：推定延長位置(深度約201.0m)

ボーリングコア写真

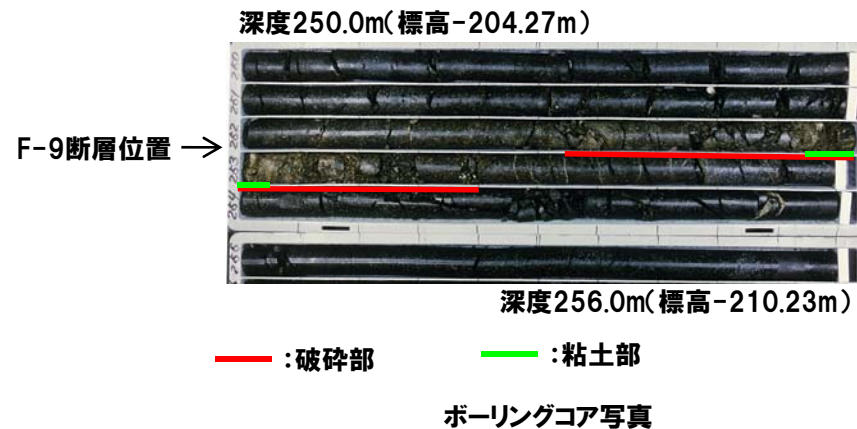
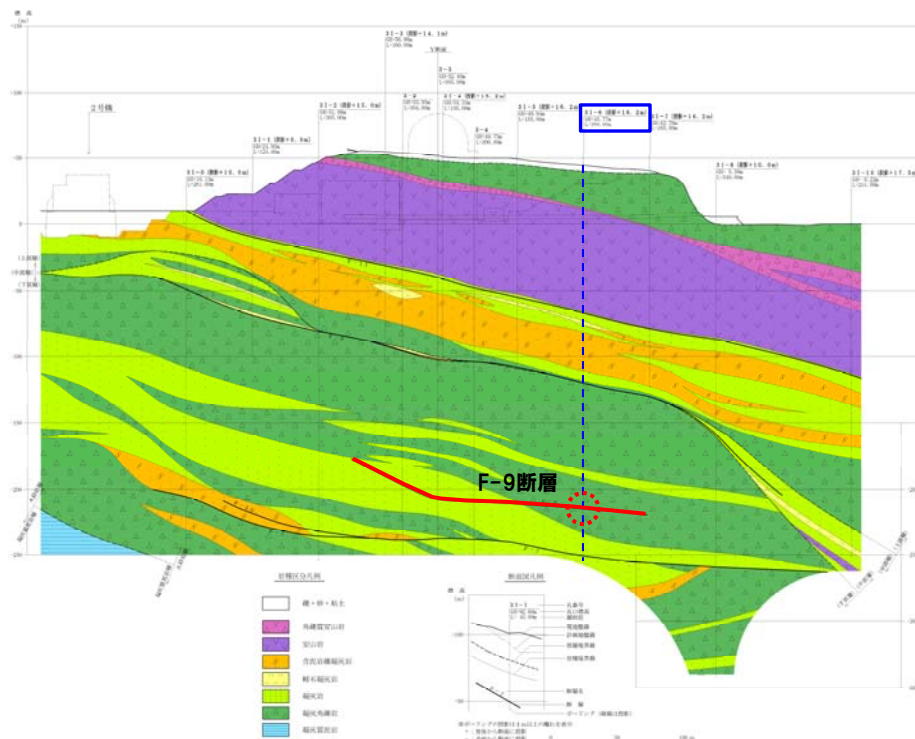


ボアホールカメラ画像(深度200~203m)

# 1.断層の連続性の確認について

## 【ボーリング調査結果:3I-6孔】

○深度254m前後の凝灰角礫岩層に破碎部が、253.9m付近に粘土の挟在が認められる。

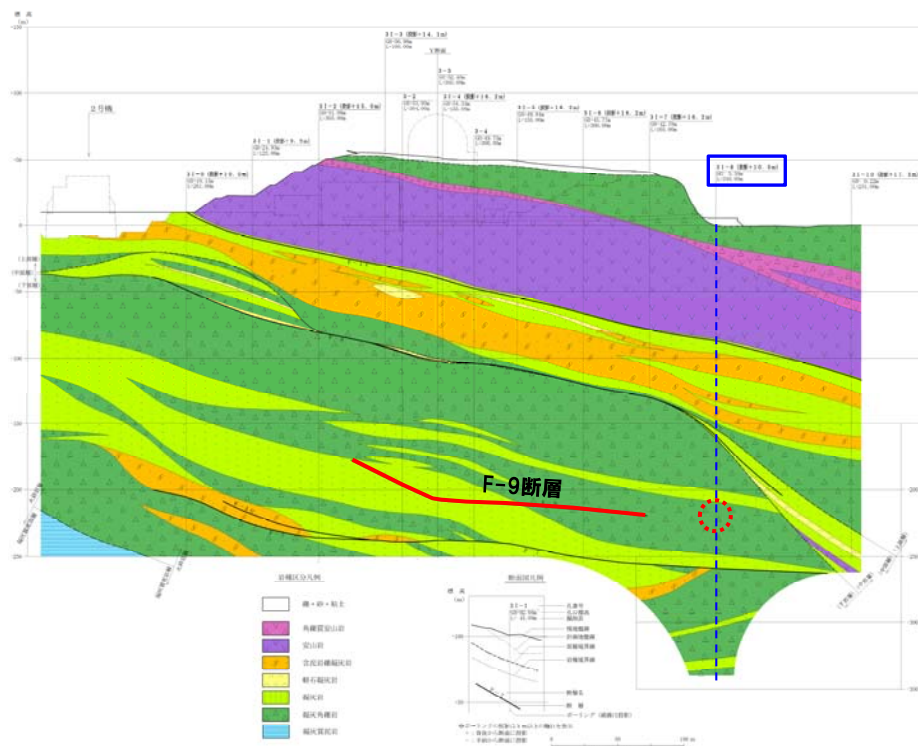


ボアホールカメラ画像(深度251~255m)

# 1.断層の連続性の確認について

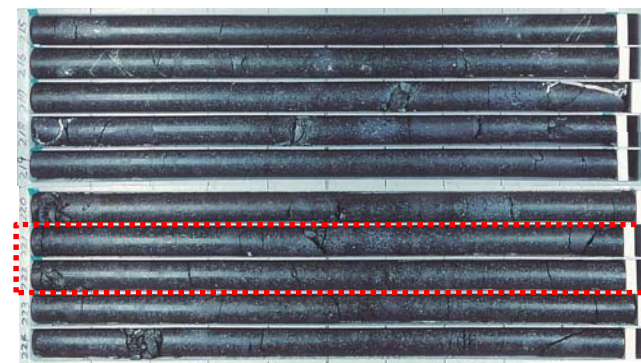
【ボーリングコア写真:3I-8孔】

○ボーリング調査から推定されるF-9断層の延長部付近には、F-9断層と同じ性状を示す断層は認められない。



地質断面図(I-Line)

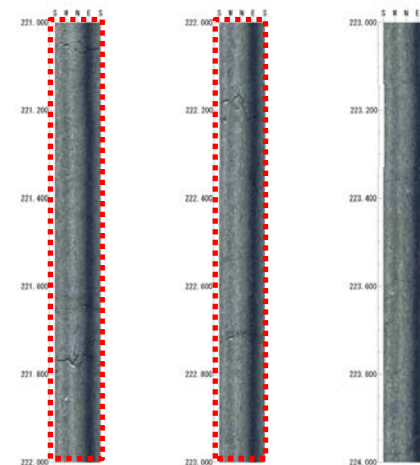
深度215.0m(標高-209.42m)



深度225.0m(標高-219.42m)

○:推定延長位置(深度約222.2m)

ボーリングコア写真



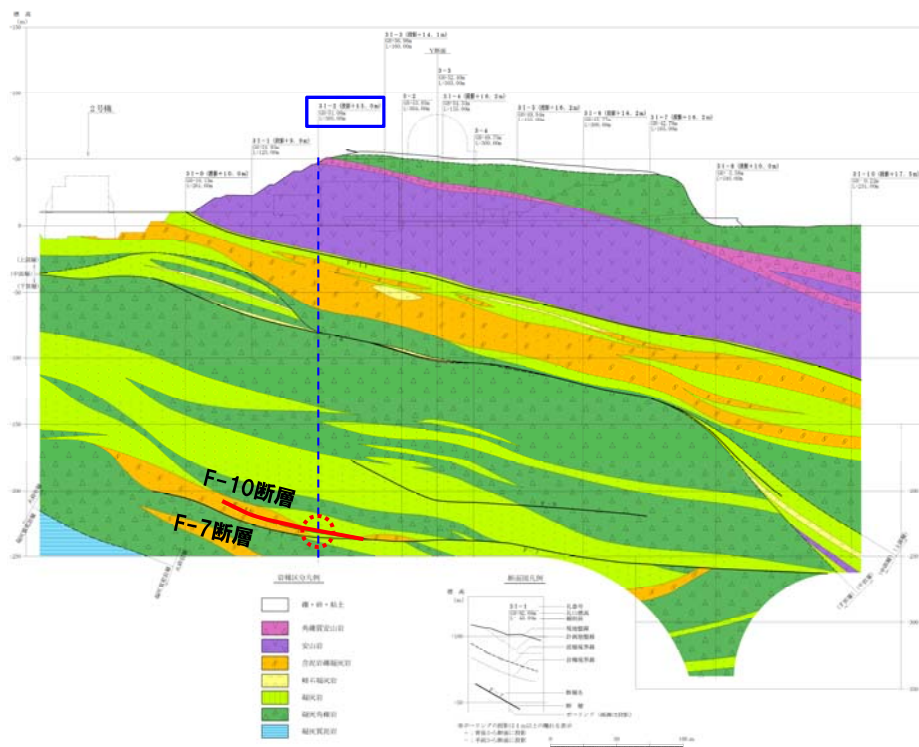
ポアホールカメラ画像(深度221~224m)

# 1.断層の連続性の確認について

## (9)F-10断層

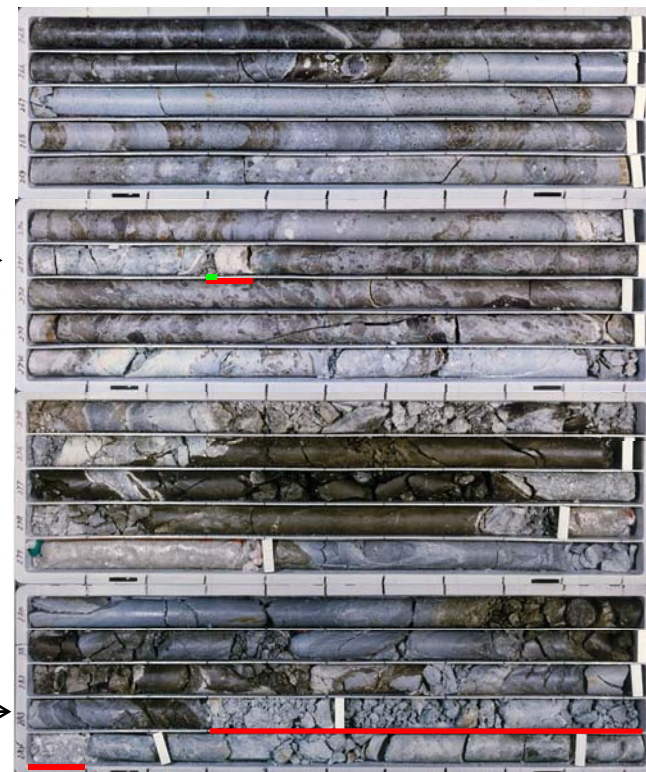
【ボーリング調査結果:3I-2孔】

○深度271.3m付近の凝灰岩層に、破砕部及び粘土の挟在が認められる。



地質断面図 (ILine)

深度265.0m(標高-213.92m)



F-10断層位置 →

F-7断層位置 →

深度285.0m(標高-233.92m)

— :破砕部

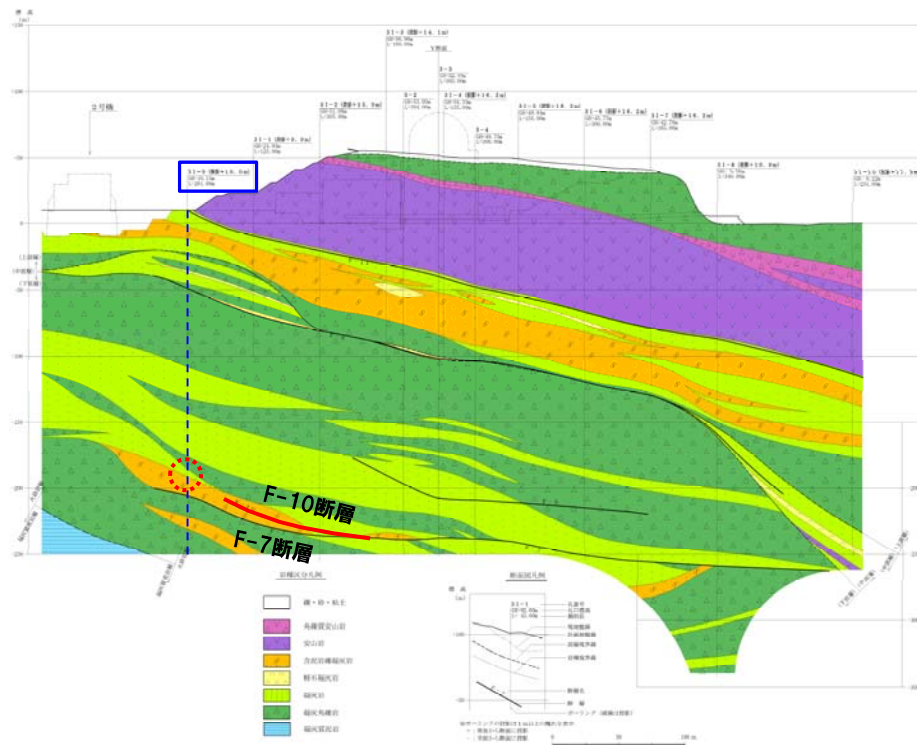
— :粘土部

ボーリングコア写真

# 1.断層の連続性の確認について

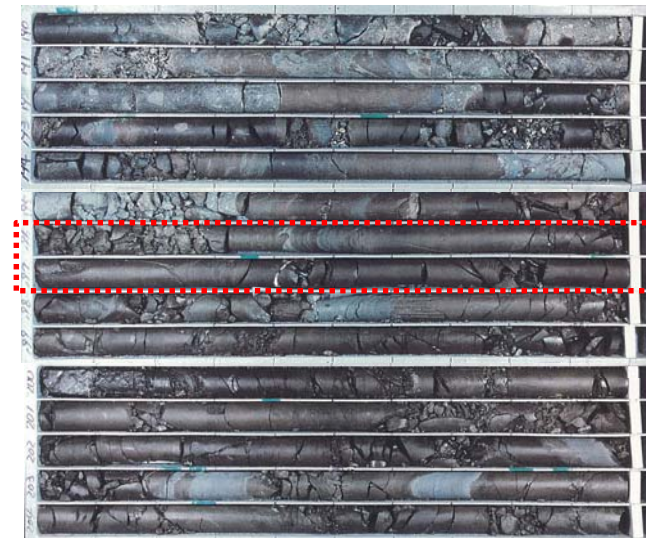
【ボーリング調査結果:3I-0孔】

○ボーリング調査から推定されるF-10断層の延長部付近には、F-10断層と同じ性状を示す断層は認められない。



地質断面図 (ILine)

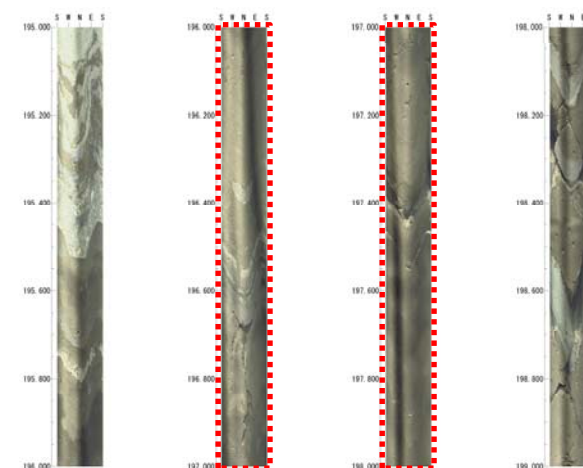
深度190.0m(標高-179.87m)



深度205.0m(標高-194.87m)

⋯⋯ : 推定延長位置(深度約197.0m)

ボーリングコア写真



ポアホールカメラ画像(深度195~199m)

# 1.断層の連続性の確認について

## (10)F-11断層

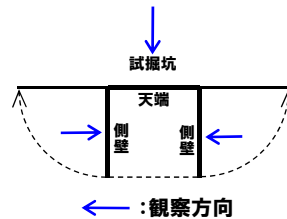
### 【試掘坑調査結果:B坑】

○B坑では、F-11断層は泥質凝灰岩と砂質凝灰岩の境界付近に認められ、走向・傾斜はN52° W/42° Wを示す。

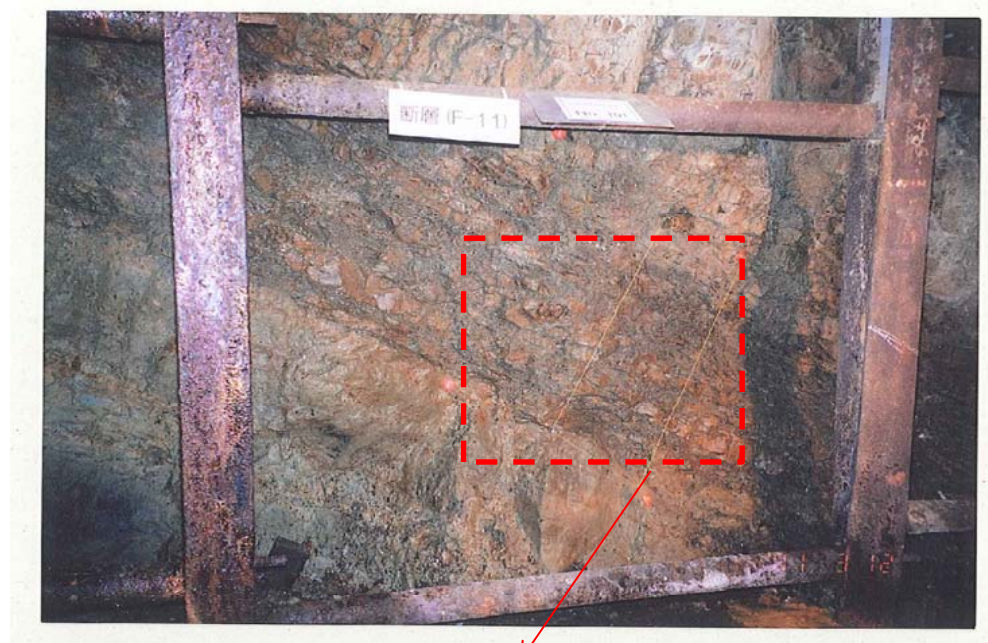
B坑山側 (5の5)



試掘坑展開図(B坑)



スケッチ展開方法



F-11断層露頭写真(B坑南東壁 TD88.0)

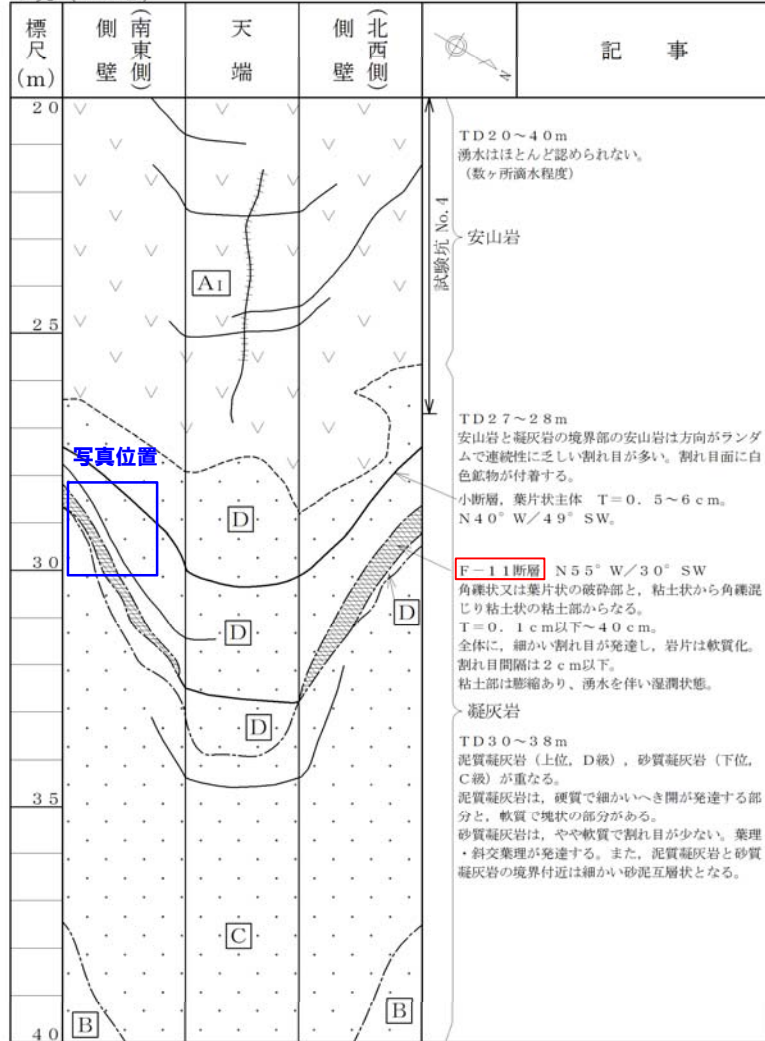


# 1.断層の連続性の確認について

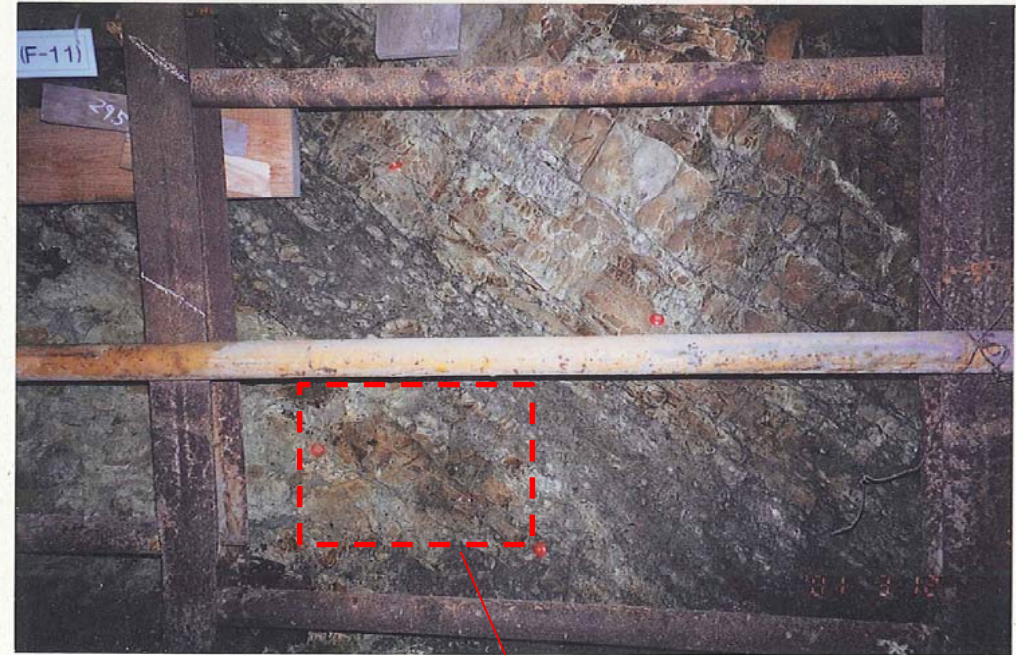
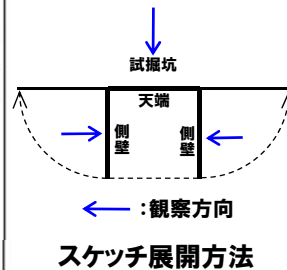
## 【試掘坑調査結果:C坑】

○C坑では、F-11断層は泥質凝灰岩と砂質凝灰岩の境界付近に認められ、走向・傾斜はN55° W/30° Wを示す。

C坑 (7の2)



試掘坑展開図(C坑)

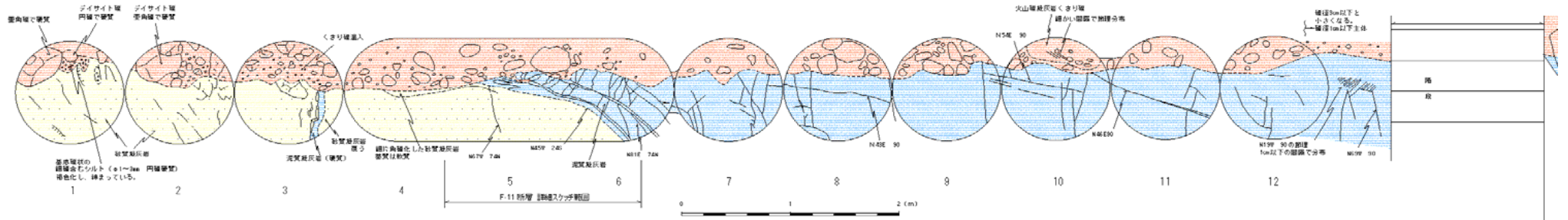


F-11断層露頭写真(C坑南東壁 TD30.0)

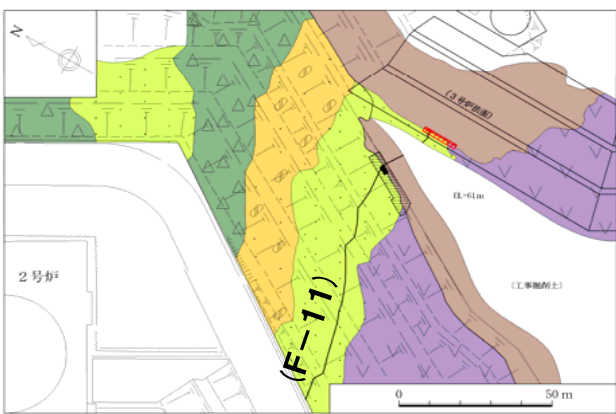
# 1.断層の連続性の確認について

## 【開削調査結果】

- 開削調査位置では、砂質凝灰岩と泥質凝灰岩の境界付近にF-11断層が認められる。
- F-11断層は、高位段丘堆積物に覆われる。

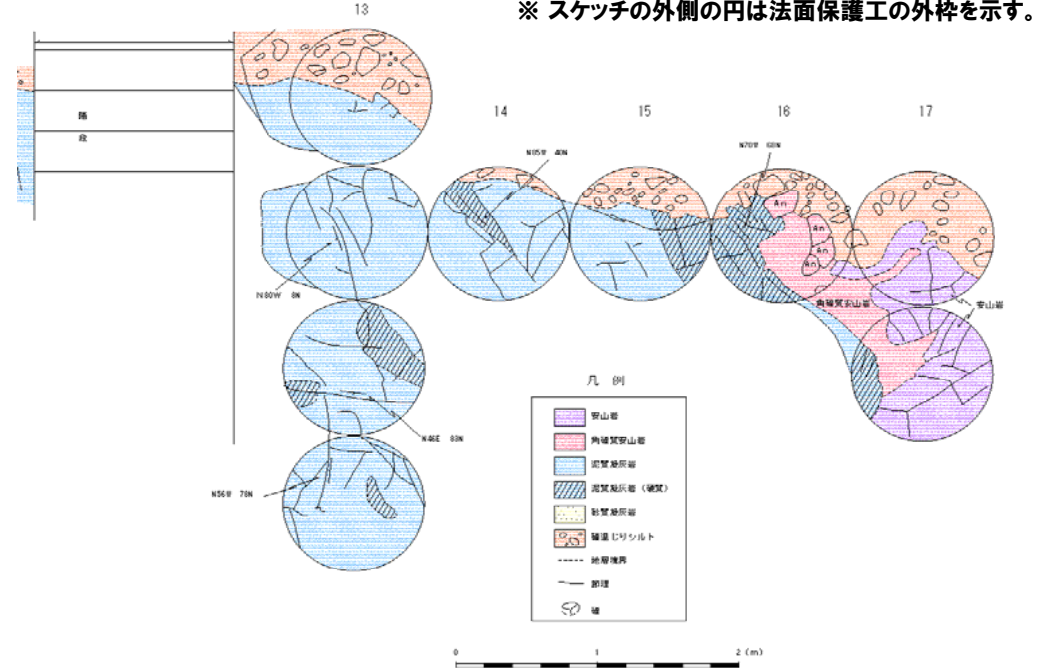


※ スケッチの外側の円は法面保護工の外枠を示す。

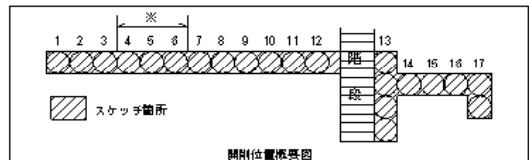


開削調査位置図

- 凡例
- 盛土
  - 高位段丘堆積物及び崖堆積物
  - 安山岩
  - 含泥岩凝灰岩
  - 凝灰岩
  - 凝灰角礫岩
  - F-11断層
  - 開削調査箇所 (泊3号炉原子炉設置変更許可申請時)
  - 敷地造成工事時確認箇所



- 凡例
- 安山岩
  - 角礫質安山岩
  - 泥質凝灰岩
  - 泥質凝灰岩 (噴灰)
  - 砂質凝灰岩
  - 凝灰角礫岩
  - 凝灰角礫岩
  - 地層境界
  - 断層
  - 礫



開削調査範囲(全体図)

露頭全体スケッチ



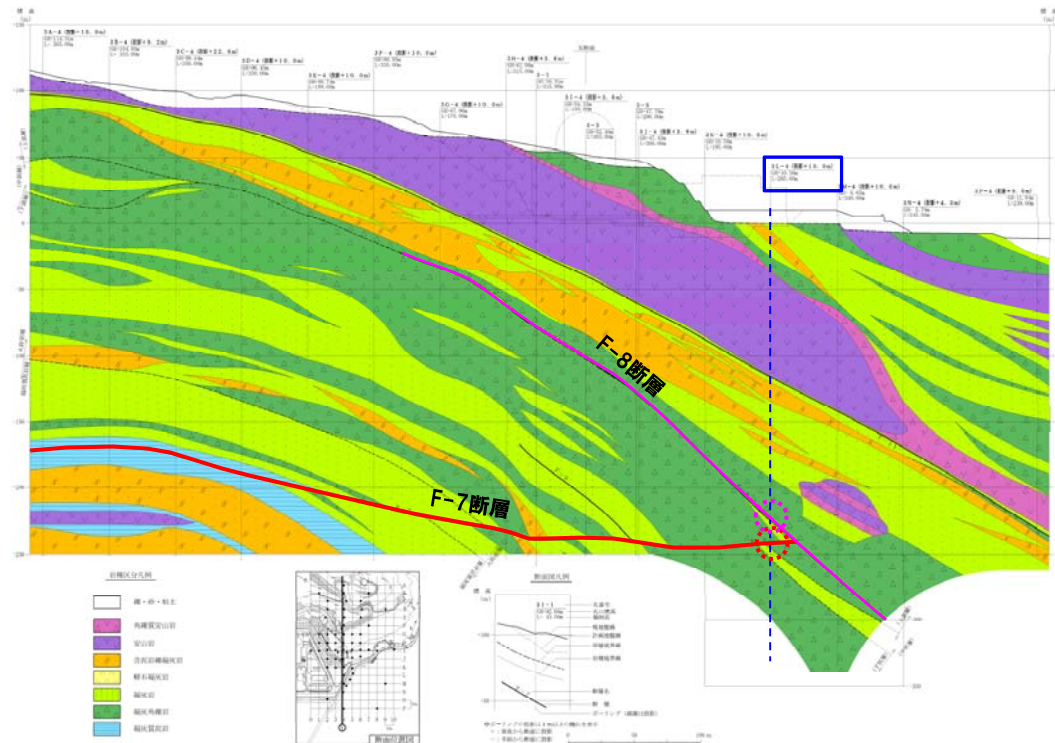
## 2. 断層の切り合いの関係について

## 2. 断層の切り合いの関係について

### (1) F-7断層及びF-8断層

#### 【ボーリング調査結果:3L-4孔】

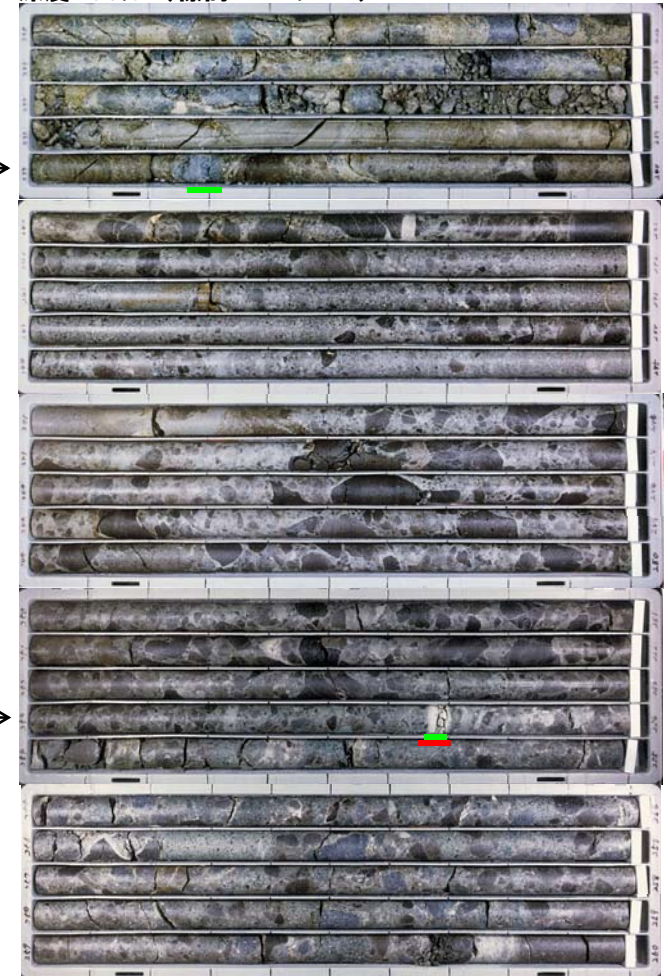
- 深度239m付近の凝灰角礫岩層と凝灰岩層の境界付近にF-8断層が、  
深度253.7m付近の凝灰角礫岩層にF-7断層が認められる。



地質断面図(4Line)

深度235.0m(標高-224.44m)

F-8断層位置 →



F-7断層位置 →

深度260.0m(標高-249.44m)

— : 破碎部

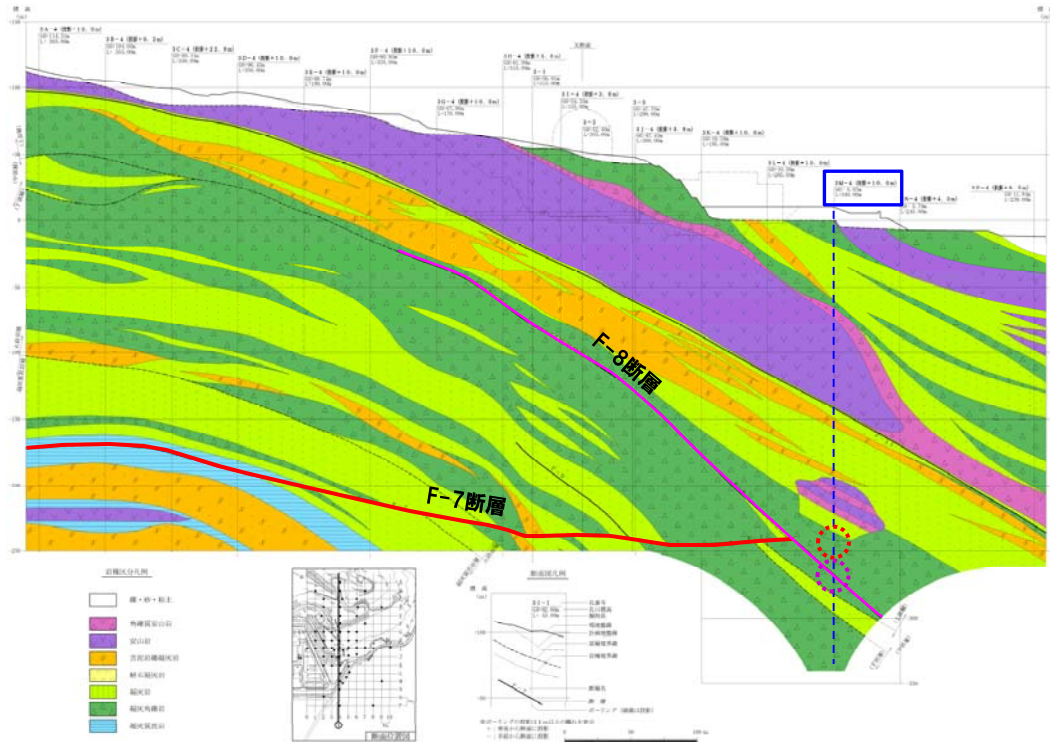
— : 粘土部

ボーリングコア写真

## 2. 断層の切り合いの関係について

【ボーリング調査結果:3M-4孔】

○ボーリング調査から推定されるF-7断層の延長部付近には、F-7断層と同じ性状を示す断層は、認められない。



地質断面図(4Line)

○ : F-7断層推定延長位置  
 ○ : F-8断層位置

F-8断層位置 →

深度245.0m(標高-238.35m)



深度275.0m(標高-268.35m)

○ : F-7断層推定延長位置(深度約248m)

— : 破碎部

ボーリングコア写真

## 2. 断層の切り合いの関係について

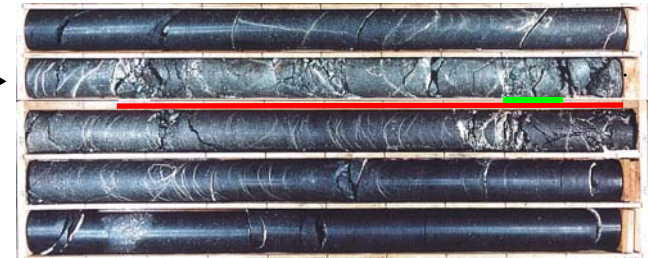
### (2) F-7断層及びF-9断層

【ボーリング調査結果:3-3孔】

○深度260~261mの凝灰岩層に、破砕部及び粘土の挟在が認められる。

深度258.0m(標高-205.60m)

F-9断層位置 →

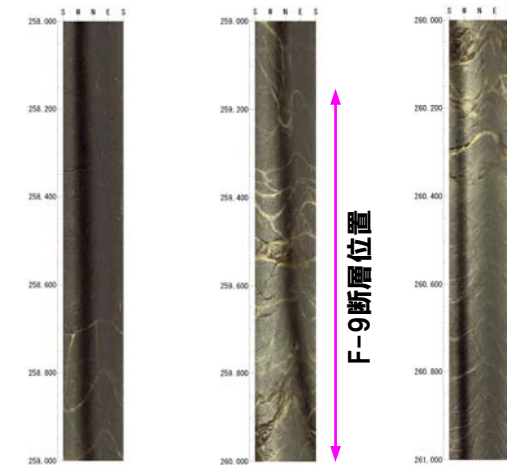


深度263.0m(標高-210.60m)

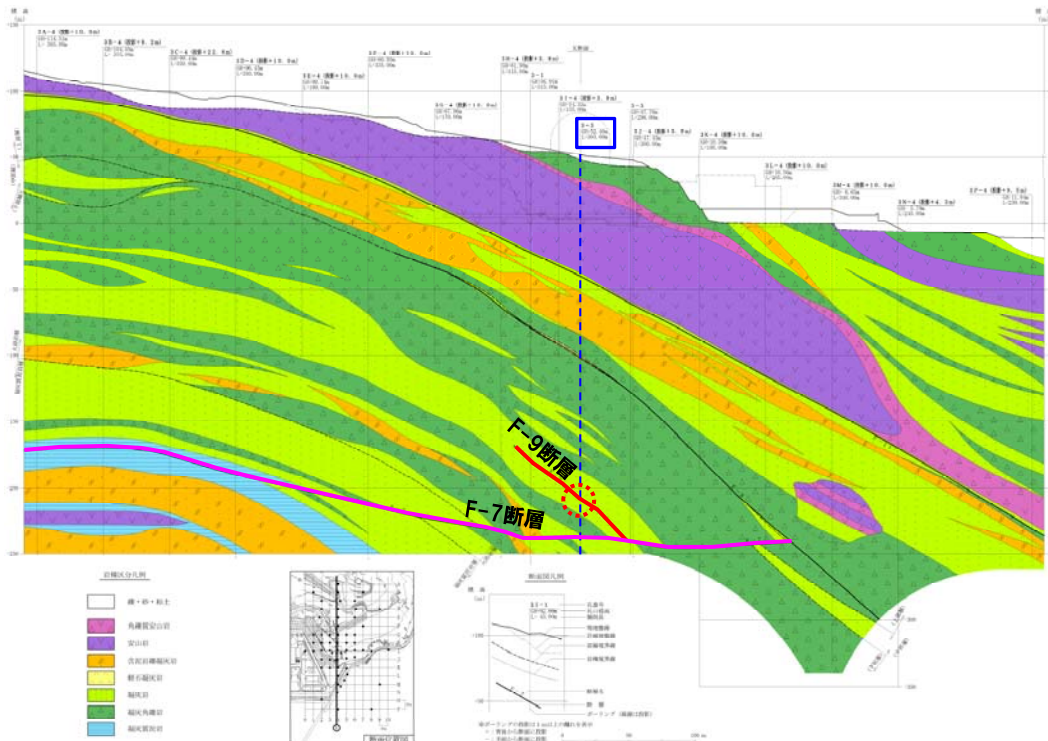
— :破砕部

— :粘土部

ボーリングコア写真



ボアホールカメラ画像(深度258~261m)



地質断面図(4Line)

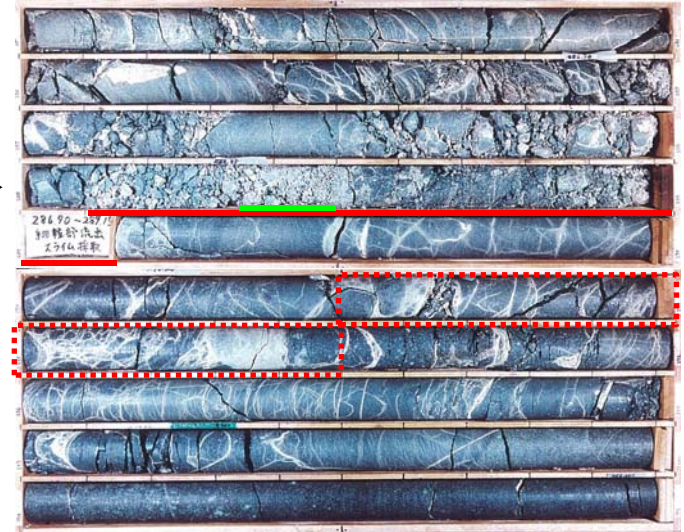
## 2. 断層の切り合いの関係について

【ボーリング調査結果:3-5孔】

○ボーリング調査から推定されるF-9断層の延長部付近には、F-7断層が認められるが、F-9断層と同じ性状を示す断層は認められない。

F-7断層位置 →

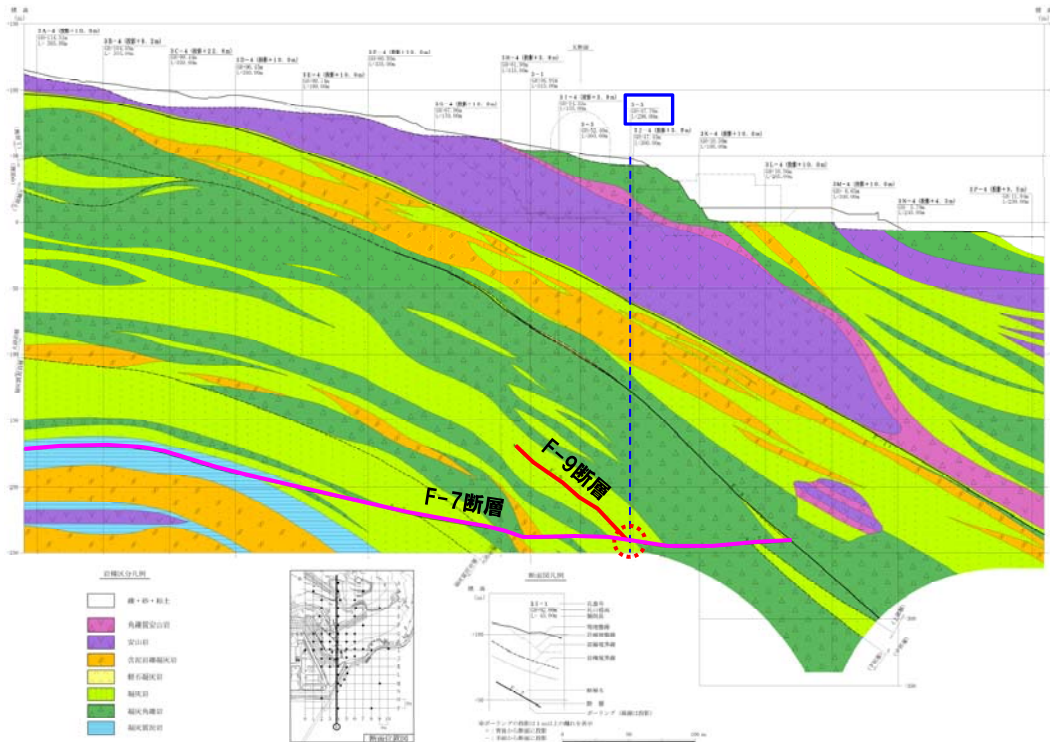
深度285.0m(標高-237.22m)



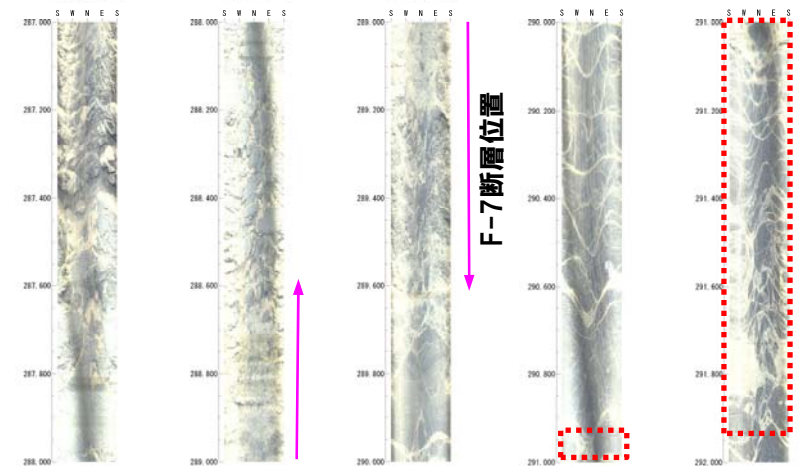
深度295.0m(標高-247.22m)

— : 破碎部      — : 粘土部  
 - - - : F-9断層推定位置(深度約291m 標高約-243m)

ボーリングコア写真



地質断面図(4Line)



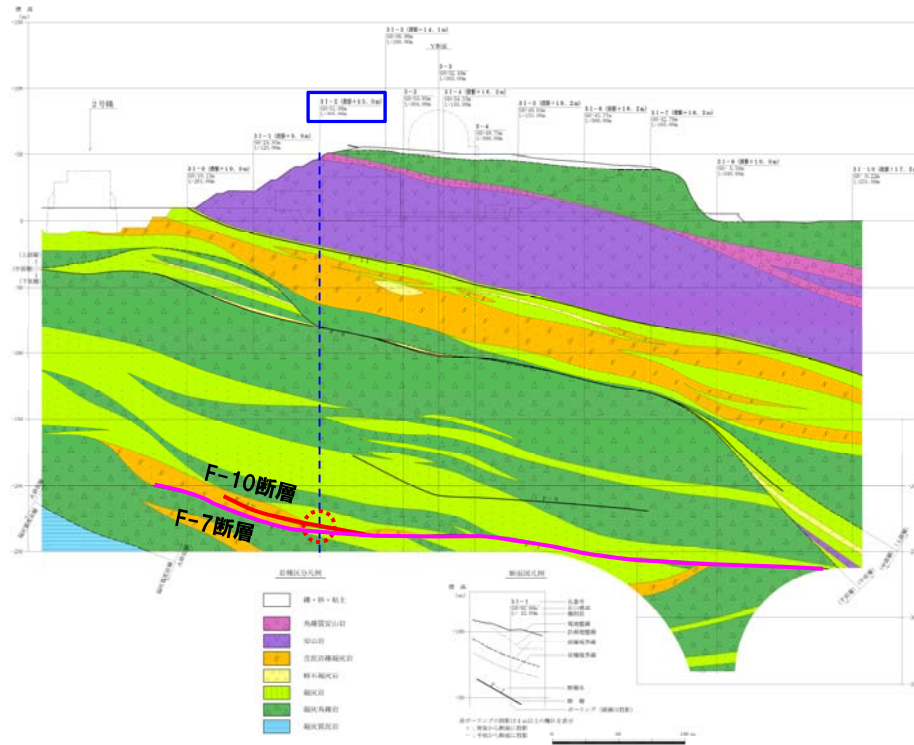
ボアホールカメラ画像(深度287~292m)

## 2. 断層の切り合いの関係について

### (3) F-7断層及びF-10断層

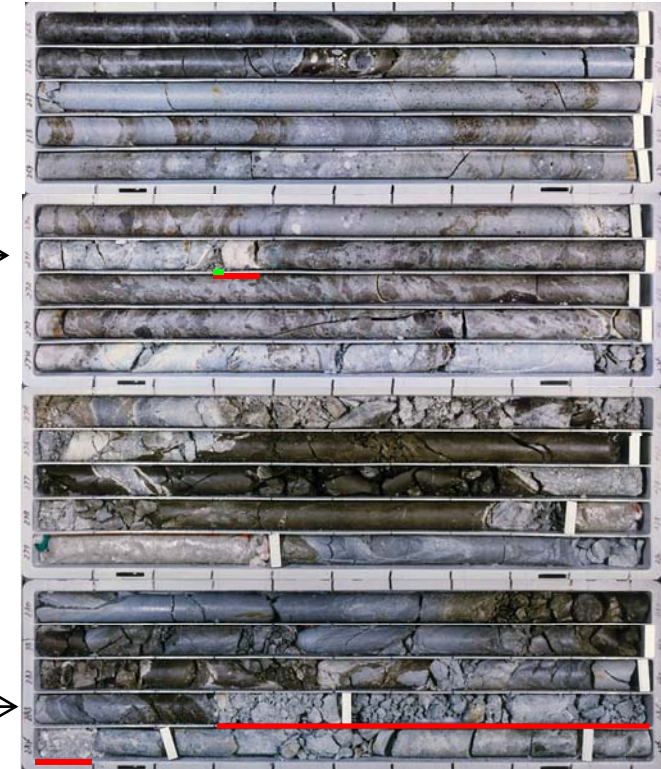
【ボーリング調査結果: 3I-2孔】

○深度271m付近の凝灰岩層にF-10断層が、深度283m付近の凝灰岩層にF-7断層が認められる。



地質断面図 (I-Line)

深度265.0m(標高-213.92m)



深度285.0m(標高-233.92m)

— : 破碎部      — : 粘土部

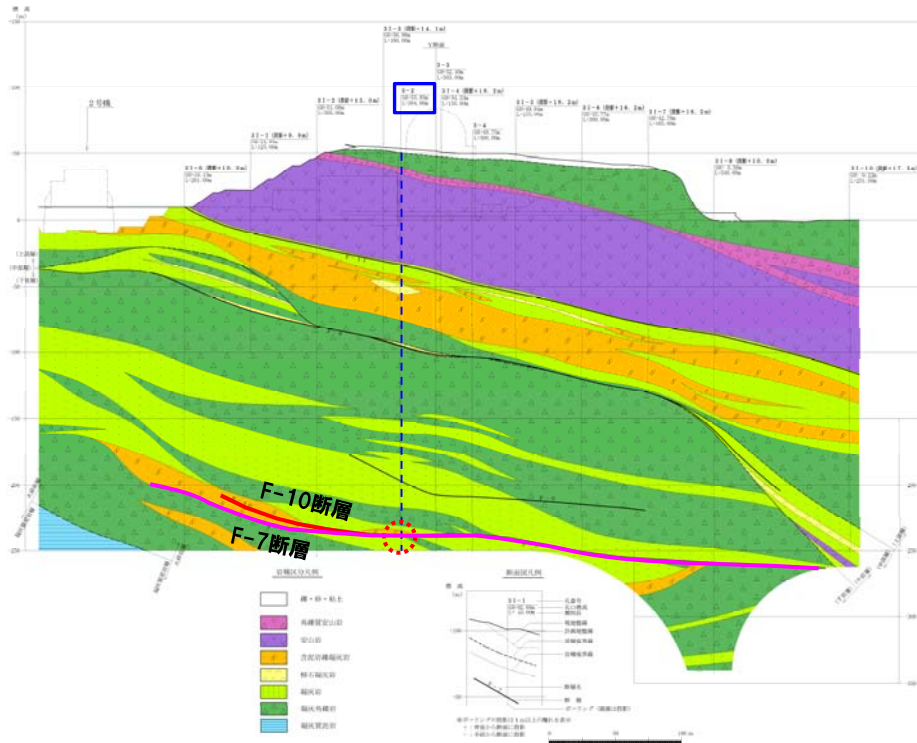
ボーリングコア写真



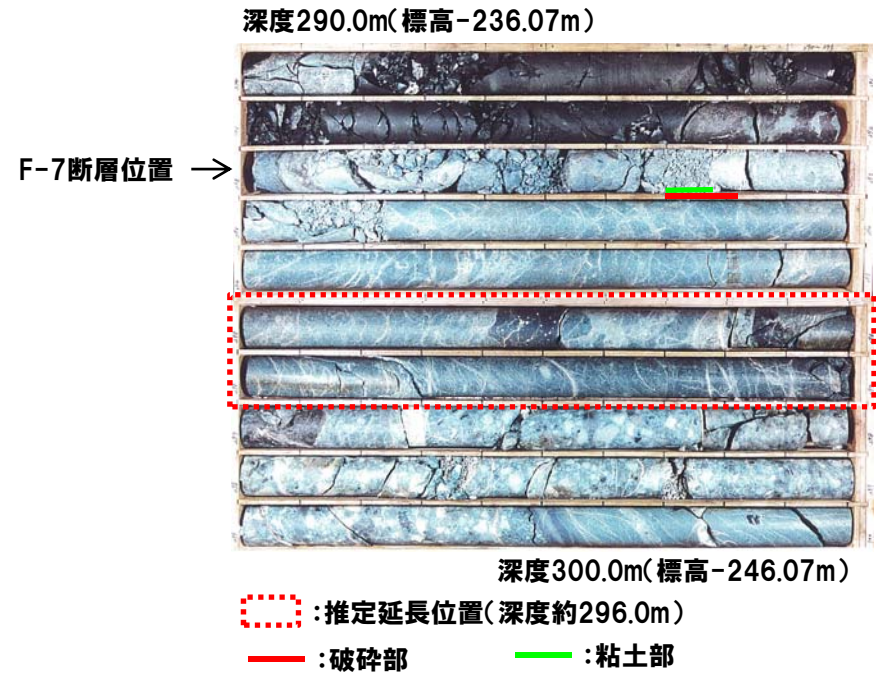
## 2. 断層の切り合いの関係について

### 【ボーリング調査結果:3-2孔】

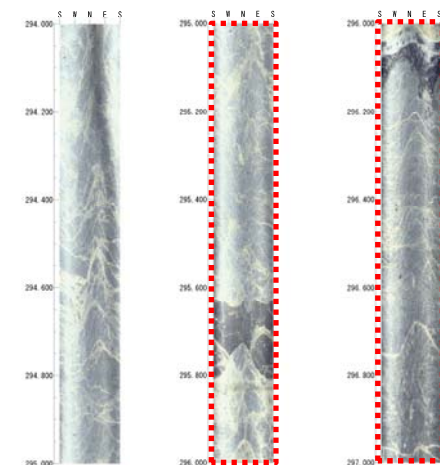
○ボーリング調査から推定されるF-10断層の延長部付近には、F-10断層と同じ性状を示す断層は認められず、それより浅い深度にF-7断層が認められる。



地質断面図 (I-Line)



ボーリングコア写真



ボアホールカメラ画像(深度294~297m)